

車体

NEWS

AUTUMN 2021 秋

JAPAN AUTO-BODY INDUSTRIES ASSOCIATION INC.



NV200/バネット
(詳細はP.33を参照)

CONTENTS

巻頭言 2

NEWS特集

講演会を開催

「自動車産業政策の方向性について」 3

カーボンニュートラル対応 5

NEWS FLASH

本部だより 7

部会だより 8

支部だより 9

官公庁だより 10

会員情報 11

月度活動状況 12

NET WORK vol.104

T.トラスト(株) 17

VOICE STAGE 92

(株)コシダテック 19

ドメティック(株) 20

そこが知りたい

第50回 「超小型モビリティ?」 21

働くクルマたち

第34回 「作業・工作用車両」 23

COFFEE BREAK 25

いどばた会議

第7回 「未来日記 Part2」 27

我が社の元気人 29

DATA FLASH

2021年1月～6月 会員生産状況概要 30

編集後記 33

新明和工業株式会社
特装車事業部
コミュニケーションキャラクター
真仲 ひかり

ヒトにやさしいモノづくりを
目指しています。

Dump Truck ダンプ車



Liquid Transporters 液体運搬車



Environment Refining Vehicles

環境整備車



Concrete Mixer ミキサ車

ミキサ車



Tail Gate Lifter テールゲートリフタ

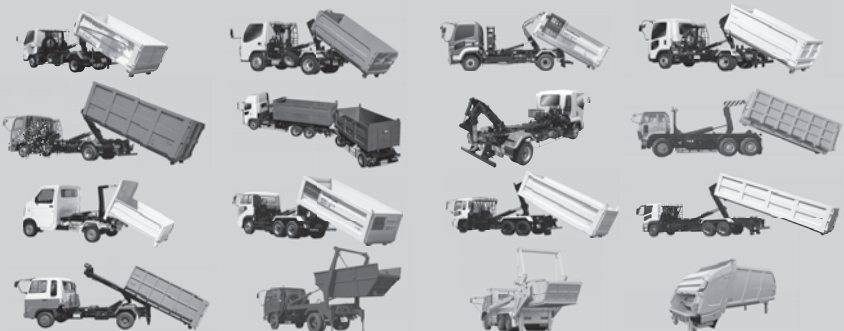


Bulk Transporters

粉粒体運搬車



Detachable Container Systems 脱着ボデー車



Cargo Transport Work Vehicles

積荷搬送作業車



新明和工業株式会社 <https://www.shinmaywa.co.jp>

特装車事業部 営業本部 〒230-0003 横浜市鶴見区尻手3-2-43 TEL (045)575-9907 FAX (045)575-0805

直 納 部 ☎(045)575-5066 直販営業部 ☎(03)3842-6131 北海道支店 ☎(011)641-0511 東北支店 ☎(022)232-4241 関東支店 ☎(048)651-9741
東京営業部 ☎(03)3842-6120 中部支店 ☎(052)231-5191 関西支店 ☎(0798)51-3500 中国支店 ☎(082)285-1171 九州支店 ☎(092)411-5455

特装車事業部
ウェブサイトはこちら



特装車事業部
インスタグラムはこちら



副会長就任にあたって

副会長 増井 敬二
トヨタ車体(株)・取締役社長



本年度より、当会の副会長及び環境委員会と広報委員会の委員長を務めさせていただいております。各会員企業の皆様には、日頃の活動へのご理解とご協力をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、我々自動車業界も昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大により大変大きな影響を受けております。国内市場は昨年上期を底に立ち直りを見せ始めているものの、新興国中心にまだまだ回復には時間がかかる見込みです。自動車業界は、モノづくりのすそ野が広く、人流・物流や関連サービスを含めると、経済全体への影響も非常に大きく、経済のけん引役としての役割を期待されております。ぜひ、その一翼を担えるよう、当会の活動においても、皆様と一緒に盛り上げていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

一方、地球規模でみるとSDGsやESGなどをキーワードに、環境と人権への取組みは昨今の大きな関心事となっており、企業は、経済活動だけではなく、地球・社会への貢献が非常に大事な活動となってきています。中でも、環境に関する取組みは世界中で拡大・加速しており、すでに個人の生活や企業活動の前提として不可逆なものになってきていると感じています。

とりわけ、CO₂低減に関しては、世界的にもCO₂排出量の実質ゼロを目指した取組みが加速している中で、日本でも2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略が策定・公表されました。自動車業界においても、各国の規制や各メーカーによるカーボンニュートラル対応の方針が昨年来矢継ぎ早に発表され、まさに数年前の状況とは一変してまいりました。カーボンニュートラルの取組みは自社だけでは完結しません。ご存知の通り、製品のライフサイクル全体で考えていくことが必要であり、EVやFCV、PHVへの移行のみでなく、素材からエネルギー、製品の廃却まで多岐にわたります。各業界と一緒に頑張って取り組んでまいりたいと思います。

当会においても環境委員会を通じて、環境負荷低減のための各種取組みを進めております。(本文末参照)

具体的には、高度化するクルマのリサイクル性の更なる向上や、環境基準適合ラベルの取得推進、重金属フリーの取組みフォローなどを通じて、各会員企業様の環境にやさしい働くクルマづくりを支援していきたいと考えております。

特に、カーボンニュートラルに関して言いますと、課題は各会員企業様の製品面での対応(シャシメーカーの電動化の動きと合わせて)と生産領域におけるCO₂の削減の二つだと考えております。

従来、環境委員会では生産領域におけるCO₂削減について取り組んでまいりました。今後は、新たに当会に設置されましたカーボンニュートラル専門委員会とともに、各団体と連携しながら、その取組みを加速させてまいります。

2050年カーボンニュートラルビジョンの実現に向けて、各会員企業様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、カーボンニュートラルの実現に向けての上記のような取組みを各会員企業様及び社会の皆様に正しく理解していただくことも大変重要な活動であると思います。私の担当しております広報委員会としても対外的PRの重点項目として取り組み、活動への理解を深めていただけるように支援していきたいと考えております。

末筆ではありますが、今後とも車体工業会会員の皆様とともに自動車業界、国内経済、ひいては環境・社会に貢献していくため、皆様のご支援、ご協力をお願いするとともに、これからの各社のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

<参考>

環境委員会での重点取組み

1. リサイクル設計の推進
2. 協力事業者制度の推進
3. 環境負荷物質の使用削減
4. 地球温暖化対策の取組み
(生産領域でのCO₂削減活動)
5. 産業廃棄物減量化への取組み
6. VOC排出量削減の取組み
7. 環境への取組み支援と広報



吉村 直泰 氏
経済産業省製造産業局
自動車課長

講演会を開催

自動車産業政策の方向性について

2021年7月15日、「自動車産業政策の方向性について」をテーマに経済産業省自動車課の吉村課長による講演会を開催した。都内はコロナ禍の緊急事態宣言下ということもあり、車体工業会会議室をメイン会場とし、Zoomによるオンラインでの実施とし、参加49社86回線と多くの会員が参加した。

カーボンニュートラル諸外国の動向

欧州では、自動車CO₂排出規制見直しに関する欧州委員会提案で、加盟国による立法化の作業が進められている。この提案の中では2030年には乗用車(CO₂排出基準を37.5%→55%に引き上げ)、小型商用車(CO₂排出基準を31%→55%に引き上げ)のCO₂排出基準を強化していくということが盛り込まれており、2035年では、2021年比100% (新たに追加)と事実上の内燃機関の禁止がとなっており、欧州の動きは加速を増している。

アメリカの現政権では巨額予算を投じて米国製EVの普及促進と高容量電池のサプライチェーン強化でEV/電池生産で先行する中国に対応していく考えであり、自動車産業の未来は電気自動車にかかっていることを強調する政策を打ち出している。

日本のグリーン成長戦略

1. 概要

- ・ 温暖化への対応を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、「成長の機会」と捉える時代に突入している。
- ・ 実際に、研究開発方針や経営方針の転換など、いわゆる「ゲームチェンジ」が始まっており、この流れを加速すべく「グリーン成長戦略」を推進する。
- ・ 「イノベーション」を実現し、革新的技術を「社会実装」する。これを通じて2050年カーボンニュートラルだけでなく、CO₂排出削減にとどまらない「国民生活のメリット」も実現する。

2. 自動車・蓄電池戦略

2050年の自動車のライフサイクル全体でのカーボンニュートラル化を目指すとともに、新たなエネルギー基盤としての蓄電池産業の競争力強化を図る。

<基本的考え方>

- ① 自動車産業のみならず、エネルギー供給、様々な産業、生活や仕事、モビリティや物流、地域やまちづくりに関わり、幅広い政策を積極的に総動員する。
- ② 我が国産業の国際競争力にもつながるよう、特定の技術に限定することなく、パワートレイン・エネルギー／燃料等を最適に組み合わせて、多様な道筋を目指す。
- ③ 日本の自動車産業は、世界各国に自動車を供給する、世界に冠たる総合的な技術力をもつ基幹産業であり、諸外国の施策や市場の状況に注目して、包括的な措置を講じる。
- ④ 関連産業には中小零細企業が多くを占める分野も多いことから、電動化への対応の他、新たな領域への挑戦、業態転換や多角化、企業同士の連携や合併等を通じて、カーボンニュートラル実現に向けて、前向きに取り組めるような産業構造を目指す。

<具体的な取り組み>

① 電動化の推進

2035年までに、電動車(新車乗用車:EV、FCV、HV、PHEV)100%を可能とする包括的な措置を講じる

② 水素社会の実現

- ・ FCトラック:世界と同時に国内市場を立ち上げ各国にも輸出
- ・ グリーンで安価な水素の確保(2050年に化石燃料に対して十分競争力を有する水準を目指す)

③ 燃料のカーボンニュートラル化(合成燃料(e-fuel)等)

- ・ 電動化のハードルが高い商用車等:燃料のカーボンニュートラル化の取り組みが重要
- ・ 商用化に向けた一貫製造プロセス確立:2030年代に導入拡大・コスト低減、2040年までの自立商用化、2050年にガソリン価格以下のコスト実現を目指す

④ エネルギー政策との両輪での政策推進

- ・ 自動車のライフサイクル全体でのCO₂排出削減のためには、安価な脱炭素化された電力が必要
- ・ カーボンニュートラルを巡る国際的な議論の状況を踏まえ、公平で透明な国際競争環境の整備

モビリティ産業の将来

2050年に向けて、「世界中の誰もが便利で快適に、カーボンフリーのモビリティサービスを楽しむ社会」を目指す。そのために、社会が変わる、そして、自動車が変わる必要がある。

・ 社会が変わる

人の移動、物流システムの変革

⇒多様なモビリティとサービスの結合(MaaSの実装)

モビリティを支える新たな社会インフラの整備

⇒通信、エネルギー、社会制度等

・ 自動車が変わる

安全で快適な車 ⇒ 自動走行技術、コネクテッド技術 等

自動車のカーボンニュートラル化(ストック)

⇒運用段階のみならずライフサイクルで

① コネクテッド化

モビリティのアプリ化・スマホ化を狙う勢力(IT事業者等)の台頭

- ・ 電動化・自動化で車両価格は上昇。ハードとしては車両1台を長持ちさせつつ、ソフトウェア更新(OTA等)を通じ、メンテナンス

や付加価値向上(自動運転・サービス高度化)を行う方法が主流となりつつある。

- ・ 5G・ポスト5G社会に向けて、自動車の動くスマホ(エッジ)化は加速。ただし、本格的な事業化はこれから。



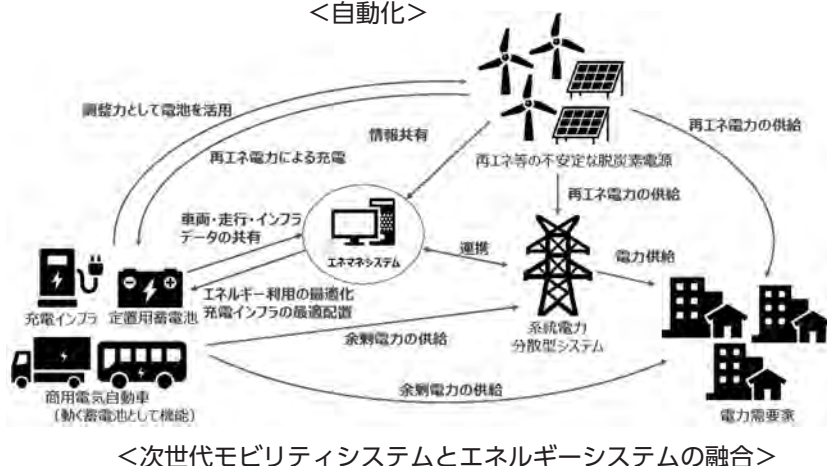
② 自動化

レベル5までの道は遠く、足元でのマネタイズと基盤技術の確保が課題

- ・ 条件のない完全自動運転(レベル5)の実現までには、様々な分岐点(要素技術・インフラ協調・安全性評価・ビジネスモデル等)が存在。各社・各国が合従連衡を繰り返しながら、様々なアプローチを模索。
- ・ 当面は、各国に先駆けた法整備とともに、先進安全運転支援(ADAS)との部品共通化等を通じて必要な収益性を確保しつつ、基盤となる技術力(センサー・半導体等)の確保を確実に進めることが必要。

③ 次世代モビリティシステムとエネルギーシステムの融合

- ・ 商用車についてはシステムにより運行管理されており、エネルギーマネジメントシステムとの計画的な連携が可能。
- ・ 商用車の電動化は電力消費の増加要因になる一方で、バッテリー容量が比較的大きいため、電力の調整力としての活用も見込まれる。
- ・ 電動化に伴う充電インフラの整備や運行効率の低下等の社会コストを最小化する観点から、エネルギーマネジメントシステムと運行管理の連携を活用。



カーボンニュートラル対応

カーボンニュートラル（以下CN）については、菅総理大臣が2020年10月26日の所信表明演説において、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年CN、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。それ以来、メディアなどが「CN」を取り上げられる機会が増え、関心も高まってきた。

当会では、5月に会長に就任した宮内会長が次のように述べました。

世界は、自然災害にも影響を及ぼす人類の諸活動を見直し、あらためて持続的な発展に繋げていくための取り組みに大きく舵を切ったと言って良いと思います。CNはそのひとつであり、達成に向け、会員の皆様と連携し、取り組んでいなければならぬと考えております。

これは大きな課題ではありますが、まずはCNを正しく理解することから始めることが大事だと思います。

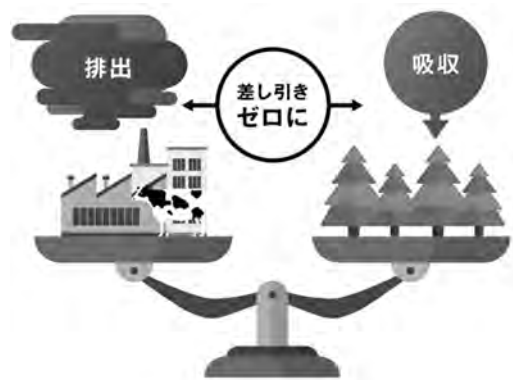
このCNへの対応を会員の皆様にとってどのような対応を取っていただくべきかを当会でも考え皆様へご提案する必要があると思っており当会内に専門的なグループを立ち上げたいと考えております。

専門的なグループは、「CN専門委員会」として8月27日に活動を開始しました。今回は、皆様にあらためてCNを知り、理解を深めていただくため、CNについて紹介する。

● CNとは？

「『CN』とは、CO₂排出量を減らすこと」、と考えられている方が多いが、そうした理解だけで良いのかを知ることが、正しくCNを理解することにつながる。

全体として「ゼロ」とは、「排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること」である。つまり、排出を完全にゼロに抑えることは現実的に難しいため、排出せざるを得なかった分については同じ量を「吸収」または「除去」することで、「差し引きゼロ、正味ゼロ（ネットゼロ）」を目指しましょう」ということである。これが、「CN」における「ニュートラル（中立）」が意味するところである。



（出典：自工会「カーボンニュートラルの基礎知識」）

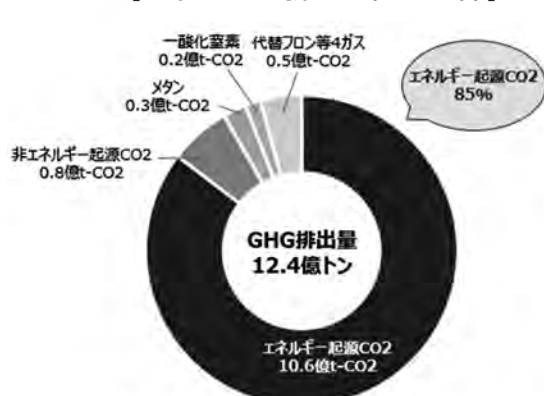
● 温室効果ガスとは？

適度な温室効果ガスは住みやすい環境を保つために必要であるが、このまま増えすぎると地球の温暖化が進み、海面水位の上昇、動物や植物の生息域の変化など生態系への影響、気候変動による災害の増加につながる。最近世界各地で発生している大雨、山林火災等の自然災害も温暖化の影響と指摘されている。

なお、温室効果ガス（GHG：Greenhouse Gas）には、CO₂だけではなく、メタン、N₂O（一酸化二窒素）、フロンガスも含まれるがCO₂排出量が全体の約92%を占めており、CO₂排出量の低減が重要である。

世界の年平均気温推移を見ると、まず「今後10年のCO₂削減が人類の責務」

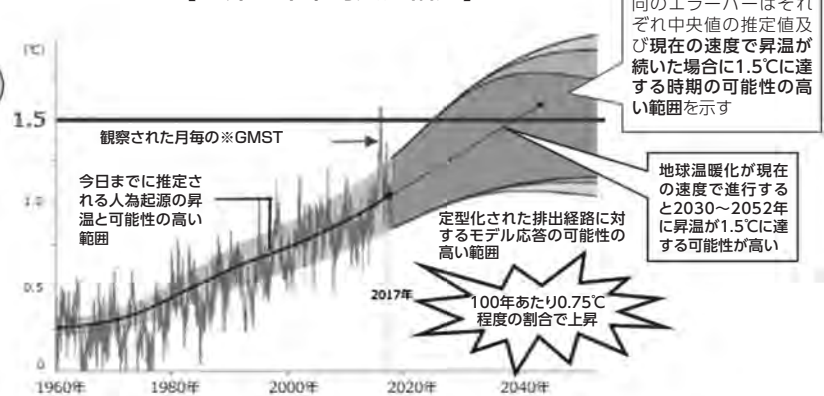
【日本のGHG排出量（2018年）】



※CO₂以外の温室効果ガスはCO₂換算した数値

（出典：経済産業省HP）

【世界の年平均気温偏差】



※GMST (Global Mean Surface Temperature)：地球の平均表面温度

（出典：環境省「IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change：国連気候変動に関する政府間パネル) 1.5℃特別報告書」から作成）

● 世界の動向

◆2020年以降の地球温暖化対策の国際的な枠組み

2015年12月にフランス・パリで開催された※COP21で、世界約200か国が世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して、2℃より充分低く抑え、1.5℃に抑える努力を追求することを目的合意。

※COP21：国連気候変動枠組条約第21回締約国会議

この目的に向け、国際社会は、今世紀後半に世界全体の温室効果ガス排出量を実質的にゼロにすること、つまり「脱炭素化」を目指し、「2050年のCN実現」を目指す動きが国際的に拡大

国・地域	目標年
フィンランド	2035
オーストリア、アイスランド	2040
日本、米国、EU、英国、韓国、カナダ、ブラジル	2050
中国	2060
インド、ロシア	現時点で言及なし

● 日本の動向

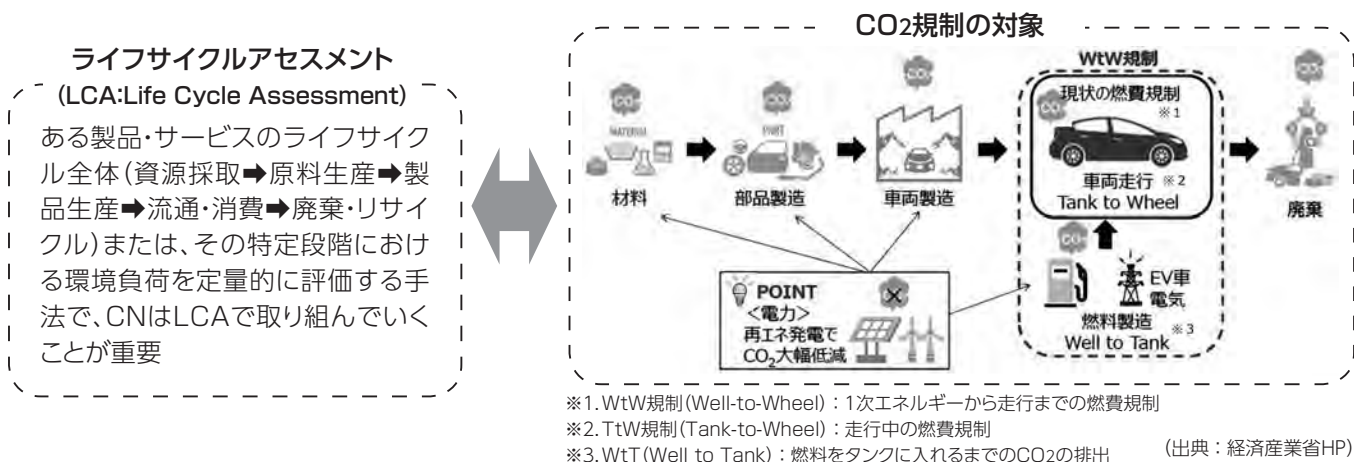
6月18日に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が公表され、重要分野における「実行計画」が示された。自動車に関しては、「電動化を推進する。この取り組みは、自動車産業のみならず、エネルギー供給、様々な産業、生活や仕事、モビリティや物流、地域やまちづくりに関わるものであり、支援・規制等の幅広い政策をパッケージとして、積極的に総動員しなければならない」と記され、2050年までの工程表が示された。

● 自動車業界

◆2050年CNは、画期的な技術的ブレークスルーなしには達成が見通せない大変難しいチャレンジであり、安価で安定したCN電力の供給が大前提であるとともに、政策的・財政的措置等の強力な支援が必要。

◆CNには、全ての段階（ライフサイクルアセスメント）で発生するCO₂をゼロにする必要があり、自動車※5団体が連携し取り組みんでいくことを確認し、公平で国際的に整合された評価方法の確立に向け、活動を開始した。

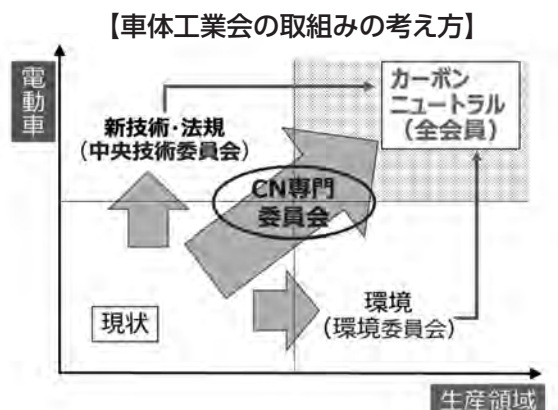
※5団体：日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車販売協会連合会



● 車体工業会の取り組み

◆自動車5団体連携活動を踏まえ、CN専門委員会活動を柱に、本部委員会、各部会、各支部と連携し、「CN対応の取り組み」における、電動車（技術）、生産領域への対応と「中小会員支援策」に会員の皆様と『手をつないで進めて行きたい』との考えで取り組んでいく。

◆会員アンケートから、CNの重要性は理解できるが、どのように取り組んでいけば良いかわからない、との意見が多い。今後勉強会の開催や会員様から直接話を伺い、課題を層別し、対策として具体的事例を展開させていただく等の支援に取り組んでいく。



■自動車関連5団体トップミーティング

6月3日に豊田会長／長田総合政策委員長(日本自動車工業会)、尾堂会長(日本自動車部品工業会)、宮内会長(日本自動車車体工業会)、辻理事長(日本自動車機械器具工業会)、加藤会長(日本自動車販売協会連合会)によるオンラインでのミーティングが開催された。

- ・カーボンニュートラルに向けた自動車政策検討会(4月28日開催)において、各団体から要望した事項が概ね反映されていることを確認した上で、各団体の重点取り組み事項を議論
- ・カーボンニュートラルに向けた今後の取組み(中小企業に向けた支援、安価な再エネのサプライチェーン全体への安定供給、サプライチェーンの構造変革への支援、CO2排出量の計測、証明や国際ルール策定への積極的関与)やデジタル化への取組みについては、各団体単独での対応は不可能との共有認識のもと、5団体で強化していくことを確認した。
- ・カーボンニュートラルとデジタル化の重要経営課題に対し、具体的な解決策を提案する「5団体カーボンニュートラル・デジタル対応合同事務局設置」を提案、了承された。なお、体制や取組み内容の骨子については、中小企業を軸として検討し、別途提案することとした。

■自動車関連5団体連携支援活動

「講習会・セミナー」

1. カーボンニュートラルセミナー

日本自動車工業会主催によるオンラインセミナーを6月22日に開催し、当会から60社87回線の参加があった。

<テーマ>

- ①カーボンニュートラルに向けた自動車業界が直面する課題

[講師] 自工会 安全・環境領域長 岡 紳一郎氏

- ②サプライチェーンにおける今後の取組みについて

[講師] 自工会 サプライチェーン委員会 調達部会 部会長 加藤 貴己氏

カーボンニュートラルの基礎知識、自動車のカーボンニュートラル化のポイント、サプライチェーンでの今後の取組みポイント等についてご講演いただき、今後、自動車業界が一丸となってカーボンニュートラルにチャレンジしていく上で大変有益な講演となった。

2. 第5回DX(デジタルトランスフォーメーション)セミナー

日本自動車部品工業会主催による第5回のオンラインセミナーを6月29日に開催し、当会から24社48回線の参加があった。

<テーマ>

2020年代のデジタルものづくり戦略と自動車・部品産業

[講師] 早稲田大学大学院経営管理研究科

ビジネス・ファイナンス研究センター教授、

(一社)ものづくり改善ネットワーク

代表理事 藤本 隆宏氏

<要旨>

2020年代の自動車産業・部品産業を考える。まず製品・サービスについては、「上空・低空・地上」の3層構造モデルでいわゆるCASEの各項目について分析する。次にECUと車載ソフトウェア及び日本のサプライヤーシステムの今後について、ムーア法則の再開とサイバーフィジカルシステム、及びゲーム論的な「競馬モデル」の観点から考察する。最後に、協調型スマートファクトリーの今後について、設計の比較優位論で予想する。

3. 生産現場の改善事例セミナー

車体工業会主催によるオンラインセミナーを8月20日に開催し、当会からは、26社41回線、5団体全体で174回線の参加があった。

<テーマ>

信号灯をIoTさせることで生産現場の改善サイクルを加速させる(現場のボトルネックをDXで見える化)

[講師] (株)パトライト グローバルマーケティング本部

グローバルマーケティング部

DX戦略推進課 村上 敦氏

<要旨>

現場の稼働データの見える化のためのツールとそれを活用した改善事例の紹介

4. 第6回DX(デジタルトランスフォーメーション)セミナー

日本自動車部品工業会主催による第6回のオンラインセミナーを8月26日に開催し、当会から25社53回線の参加があった。

<テーマ>

「Yamaha Motor to the Next Stage」

～ヤマハ発動機のDXの取組み

[講師] ヤマハ発動機株式会社

執行役員 IT本部長 山田 典男氏

<要旨>

IT・デジタル・データの戦略的活用で、ドラスティブなビジネス環境変化の中で勝ち残り、長期戦略のもと、ダイナミックな成長の実現を目指した取組み。以下3つのDXを同時並行、リンクさせながら進め、これらDXの背景・課題認識、そしてボトムアップからトップダウンでの活動に至るアプローチ、DXの取組みの概要、DX推進リソースについての紹介。

①経営基盤改革

ヤマハ発動機グループのマネジメント基盤を刷新し、経営情報の徹底的な見える化・一元化と意思決定スピードアップ、間接業務効率化による成長領域へのリソースシフト、そしてデータ活用による予知型経営の実現

②今を強くする

デジタル開発+デジタル重点4領域(コネクテッド、デジタルマーケティング、スマートオペレーション、データ分析)の取組みで、お客様に新たな感動とエクスペリエンスを提供

③未来を創る

今までにないチャンネルやコラボレーションで、2億人のお客様とつながり、未来を創造

日本自動車部品工業会主催のDXセミナーは、全9回予定しており、7～9回目は、9月以降月1回実施予定。

■環境委員会 CO2・産業廃棄物低減の会員現地支援・指導を実施

工場環境分科会(分科会長・杉山透・トヨタ車体(株)PE環境部室長)は会員のCO2・産業廃棄物の低減活動に対し、訪問による支援・指導を推進している。2020年度はコロナ禍のため中止したが、2021年度の第1回目訪問を6月25日に昭和飛行機工業(株)(東京都昭島市)で、分科会長含め計4名のチームで訪問し、実施した。

昭和飛行機工業(株)は、(一社)省エネルギーセンターの診断を受けられる等環境への意識高く取り組み、原材料歩留まり向上、リサイクルや有価物の分別が行われている。

今回の訪問の結果、金属屑リサイクルや梱包材減量での改善余地があること、また、CO2や廃棄物削減が特別な活動で多忙感否めない中での今後の活動や、二つの工場で排出量を分割し把握するメリット等について積極的に意見交換を行った。

工場環境分科会は2021年度中に他に4社への訪問を計画しているが、今後車体工業会会員全てにカーボンニュートラルの活動が求められる中、支援強化が更に必要

と考えている。

～お困り事相談～

環境関係、また今後のカーボンニュートラル推進に向け困り事等あれば、環境委員会事務局(TEL.03-3578-1681)へご相談ください。



昭和飛行機工業(株) 工場内



分別

部会だより

NEWS+FLASH

バン部会

■登録台数調査を開始

バン部会(部会長・昼間弘康・日本フルハーフ(株)会長)では、業務委員会で進めてきた、バン部会会員のニーズにあった登録台数調査を実施し、7月より部会員配信を開始した。日本自動車販売協会連合会が毎月販売台数情報を配信しているが、部会員が知りたいカテゴリーの台数情報になっていないため、自動車検査登録協会の協力を得て、車体形状(バン/冷凍冷蔵車)、車体メーカー(小型はいすゞ・トヨタ・日産・日野・三菱ふそう・UDトラックス、中型以上はいすゞ・日野・三菱ふそう・UDトラックス)を絞り込み、新たに車両総重量3.4t以上の分類を追加、更に大型は15t以上の分類を追加して、各支局別の登録台数を抽出可能とした。国土交通省の認可を受けて部会配信を開始したが、バン部会会員から「販売戦略策定の一助となる」と好評を得ている。トラック部会など他部会からも関心が寄せられており、今後共有を検討する。

北海道支部

■役員会を開催

北海道支部(支部長・鎌田直樹・北海道車体(株)常務取締役)では、8月26日役員8名が参加し、役員会を開催した。

支部長から、「2021年度に入ってもコロナ感染拡大は収まることなく27日より緊急事態宣言となり、ワクチン接種率も上がってきてはいるが、ワクチン効果は表れていないようである。昨年度の全国架装実績も全車種前年割れとなり、業界も厳しい状況が続いている。全国的に緊急事態の制限がかかった状況下で、車工会活動も会議や講演会等が昨年同様Webによる開催になっているため、早く終息することを願っている」旨の挨拶があり、その後、9月の合同部会次第、バン部会長変更等が協議された。

陸運支局との情報交換では保安基準の変更に伴う作業量の増加問題や、不正改造における懸念、注意事項について、活発な意見交換がされ、有意義な役員会となった。



中部支部

■愛知県自動車会館展示会

中部支部(支部長・景井啓之・(株)東海特装車社長)は、事務局が入居する愛知県自動車会館にてPR展示を実施した。

愛知県自動車会館は、入居する自動車関連の17団体がロビーでのPRを実施しており、今年で5回目となる。

中部支部は7月の担当として、当会員であるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー様の「ダカールラリーの活動紹介」や「車体工業会パンフレット」、「車体NEWS」の展示を通じて、来館者へのPRを実施した。



九州支部

■「第2回支部役員会」を開催

九州支部(支部長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、8月3日11社12名(うちWeb3名)が出席し「第2回支部役員会」を福岡市で開催した。

会合では感染防止策をした上で、支部長からの中央情勢報告、支部活動の今後の活動要領の話し合い、各社の近況の報告などを行った。

特に今後の活動要領については、オリンピック・パラリンピック後の世の中での動向を注視しながら決定することとした。また、会食を伴う行事については慎重に検討することで意見が一致した。

近況報告では、材料の高騰の話があり、特に平ボデーに必要なアピトン材について意見交換がなされた。



保安基準等の一部改正について (UN-R154取り込み)

国土交通省

【改正概要】

軽・中量車の世界統一排出ガス測定法に係る協定規則(第154号)に関する国際基準等を国内の保安基準に導入するため、所要の法令等の整備を行う。

乗用車等の排出ガス試験法においては、2016年10月に、世界技術規則第15号の「軽・中量車の世界統一排出ガス測定法」(WLTCモード※)を国内導入したところであるが、更なる基準調和として、自動車の型式認定において相互承認が可能となるよう、「軽・中量車の世界統一排出ガス測定法に係る協定規則(第154号)」が国際連合欧州経済委員会自動車基準調和世界フォーラム(WP29)第181回会合において新たに採択された。

これを踏まえ、我が国において、同規則を導入することを目的として道路運送車両の保安基準の細目を定める告示の改正等を行う。

※ WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

【公布・施行】 2021年8月5日

【適用義務化】 2022年10月1日(新型車)

審査事務規程第37次改正

自動車技術総合機構

【改正概要】

自動車の検査等関係

- ・ 並行輸入自動車の事前審査書面の技術基準等適合証明書のうち、電子署名されたものの提出方法及び取扱いの明確化[別添3]
- ・ その他、審査方法の明確化、書きぶりの適正化等の所要の改正を行う。

【施行】 2021年6月30日

軽自動車検査協会検査事務規程の一部を改正する規程について

軽自動車検査協会

【改正概要】

- (1) 道路運送車両法関係手数料令の一部改正に伴う改正について

- ・ 申請者が技術情報管理手数料を軽自動車検査協会に納入することに伴い収納済印影等を改正する。

- (2) その他、書きぶりの適正化等所要の改正について

- ・ 独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規程の一部改正(第35次)に伴い、所要の改正を行う。

【施行】 2021年7月1日(一部規定は10月1日)

溶接ヒュームによる健康障害防止のための「フィットテスト」(呼吸用保護具の確認)実施者に対する教育の実施について

厚生労働省

【概要】

金属アーク溶接等作業で発生する「溶接ヒューム」へのばく露による労働者の健康障害防止のため、改正特定化学物質障害予防規則に基づき、新たに呼吸用保護具が適切に装着されていることの確認(以下「フィットテスト」)が定められた。

フィットテストの実施に当たっては、フィットファクタの精度等を確保するため、十分な知識及び経験を有する者(以下「フィットテスト実施者」)が実施することが求められ、当該人材の養成を促進する必要がある。

このため、今般、フィットテスト実施者に対する教育実施要領を定めた。

<実施方法>

基本教育の実施方法は、以下によること。

- (1) 「フィットテスト実施者に対する基本教育カリキュラム」に掲げるそれぞれの科目に応じ、範囲の欄に掲げる事項について、学科教育又は実技教育により、時間の欄に掲げる時間数以上を行うものとする。
- (2) 講師は、フィットテストの指導経験がある者等、フィットテストに関し、別表のカリキュラムの科目について十分な知識と経験を有する者を、科目ごとに1名ないし複数名充てること。
- (3) 教材は、日本産業規格T8150(呼吸用保護具の選択、使用及び保守管理方法)を含む等、フィットテストに関し、別表のカリキュラムの科目について内容を十分満足したものを使用すること。

<フィットテスト実施者教育>

中央労働災害防止協会では、厚生労働省の展開に対応した「マスクフィットテスト実施者養成研修【基本コース】」を9月から実施する。

<詳しくは、以下を参照>

マスクフィットテスト実施者養成研修

https://www.jisha.or.jp/seminar/ohrdc/r5380_mask_fit.html



中央労働災害防止協会「溶接ヒュームの健康障害防止
対策」の特設ページ
[https://www.jisha.or.jp/youseitsu_hyu-mu/
index.html](https://www.jisha.or.jp/youseitsu_hyu-mu/index.html)



溶接ヒュームばく露測定に要する費用の一部補助 (間接補助金)のお知らせ 厚生労働省

【概要】

金属アーク溶接等の作業で発生する溶接ヒュームは、
発がん性が認められ、神経機能障害を発生させる。このた
め、2021年6月の法令改正により、特定化学物質とされ、

屋内の溶接作業では、溶接ヒュームのばく露測定結果に
応じた呼吸用保護具の選定及び使用等が義務付けられた
(2022年4月1日全面施行)。

このため、改正特化則の経過措置期間中におけるばく
露防止措置を支援し、法令改正を円滑に施行するととも
に、法令改正の効果を可能な限り先取りするため、中小企
業に対して、溶接ヒュームばく露測定に要する費用の一部
を補助する(間接補助金)。

第1期公募 2021年7月1日～8月31日

第2期公募 2021年10月1日～11月31日

<詳細は以下を参照>

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17832.
html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17832.html)



会員情報

■入会	正会員	(株)サニックス仙台	代表取締役 佐藤 啓	
		〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町2-4-11	TEL : 022-232-2374	
		【主要製品】トラック平ボデー 【所属部会】トラック部会		
■代表者変更	正会員	エイシン車体工業(株)	代表取締役社長	空閑 豊
		(株)エムビーエムサービス	代表取締役社長	田盛 博久
		京成自動車工業(株)	代表取締役社長	深井 貴幸
		(株)ソーシン	代表取締役社長	小俣 英之
		帝国繊維(株)	代表取締役社長	榎谷 徹
		東亜自動車工業(株)	代表取締役	森本 正和
		日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	田中 俊和
		古河ユニック(株)	代表取締役社長	山川 賢司
		北海道車体(株)	代表取締役社長	上野 聡
		ヤナセテック(株)	代表取締役社長	殿内 崇生
	準会員	(株)小糸製作所	代表取締役社長	加藤 充明
		(株)菱和	代表取締役社長	安田 健
■本社移転	正会員	KYB(株)	〒105-6111	
			東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング南館28階	
			電話番号は変更ありません。	
		須河車体(株)	〒610-0287 京都府綴喜郡宇治田原町立川坂口13	
			代表電話番号は変更ありません。	
		(株)ティセンテクノ	〒329-0526 栃木県河内郡上三川町大字鞘堂2-1	
			帝国繊維(株)下野工場内 TEL : 0285-51-0550	
		古河ユニック(株)	〒100-8370 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー	
			TEL : 03-6636-9526	
	準会員	自動車車体興業(株)	〒105-6111 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-24-1	
			代表電話番号は変更ありません。	

■訃報 正会員 エイシン車体工業(株) 代表取締役社長 空閑重信 氏(享年77歳)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

6月

	第7回自動車関連5団体トップ懇談会 (Web会議)	① カーボンニュートラル対応について論議、「5団体カーボンニュートラル・デジタル対応合同事務局」の設置を了承 ② 競争力強化に向けた取組み状況を共有	▶ P.7
3日	中央技術委員会／ 突入防止装置技術委員会 (Web会議)	シャシメーカー設定のスペーサ対応や軽微の変更追記可否について意見交換	
	UN-R58-第3改訂説明会 (Web会議)	UN-R58-03の改訂に対するアンケート結果に基づく説明会開催(フレーム延長に関する事例、みなしに関する事例等)	
9日	バス部会／技術委員会 (Web会議)	① バス車体規格集2021年版改訂に向けた残課題の確認 ② 技術発表会テーマについて意見交換	
10日	トラック部会／業務委員会 (Web会議)	① プロモーションビデオ制作説明 ② 困り事調査	
11日	バン部会／技術委員会 (Web会議)	① 安全輸送ニュース(No.5)原稿確認 ② 新型車届出書の手引き内容確認	
	トレーラ部会／製品安全委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2021年度推進課題 内容と日程案の共有 ② 純正部品使用訴求 各社展開摺り合わせ	
15日	トレーラ部会／サービス委員会 (Web会議)	① 自動車検査官研修会資料 確認 ② トレーラ部会工場見学会 実施に向けた意見交換	
16日	環境委員会／架装物リサイクル分科会 (当会会議室)	① 環境ラベル貼付率 調査実施是非を論議 ② 重金属フリー宣言調査の全会員拡大是非を論議	
17日	中央技術委員会／ 架装物コネクテッドWG (Web会議)	① 自工会大型車部会との合同会議結果の共有 ② 今後の進め方確認	
	バン部会／業務委員会 (Web会議)	① 登録台数調査開始報告 ② 困り事調査	▶ P.8
18日	特種部会／合同委員会 (Web会議)	① 2021年度事業計画の進捗状況の共有と論議 ② 車体NEWS秋号「働くクルマたち」の記事内容の論議・決定 ③ 環境ラベル取得の意義と手続き共有	
22日	環境委員会／工場環境分科会 (当会会議室)	① CO2・産廃低減 会員支援活動 訪問先調整結果共有 ② 経団連からのカーボンニュートラルに向けたビジョン策定依頼共有	
	特装部会／技術委員会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② シャシ電動化に伴う架装物動力源検討WG設置に関する意見交換	
23日	中央技術委員会／ 点検整備推進分科会 (Web会議)	① 架装物安全点検制度の運用状況の把握 ② 点検実施率向上方策について意見交換	
	特装部会／業務委員会 (Web会議)	① 生産台数について各委員から報告 ② 点検制度ステッカー販売枚数報告	
24日	中小会員ネットワーク強化ワーキング (Web会議)	① 2021年度事業計画の進捗状況の共有と論議 ② 訪問ヒヤリング計画の論議	
25日	環境委員会／工場環境分科会 (東京)	CO2・産廃低減 会員支援活動 昭和飛行機工業(株)訪問	▶ P.8
	特装部会／サービス委員会 (Web会議)	① メンテナンスニュース内容確認 ② 点検制度ステッカー販売枚数報告	
28日	バス部会／業務委員会 (Web会議)	① 新型コロナウイルス禍でのバス市場の情報共有 ② バス生産台数実績の共有	
29日	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① JATMA主催285/85R22.5タイヤの説明会 情報共有 ② JASIC国内採用WG主催 審査部CS/SU審査マニュアル説明会 情報共有	
	資材部会／役員・幹事会 (Web会議)	① 2021年度事業計画について審議、企画案について承認 ② 2021年度カーボンニュートラルについて情報共有	

NEWS+FLASH

月度活動状況

30日	中央技術委員会／ ISO26262WG (Web会議)	シャシーメーカーの架装要領書記載の進捗状況確認
	特装部会／ 塵芥車技術分科会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② TC297進捗状況の確認
	バン部会／部会会議 (書面審議)	事業計画1/4期進捗報告

7月		
2日	特装部会／ クレーン技術分科会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② 前端がオーバーハングした場合の警告器音圧対応の確認
5日	第1回中央業務委員会 (Web会議)	① 2021年度事業計画の進捗状況の共有と論議 ② 2022年度税制改正要望を論議、合意
6日	第1回環境委員会 (Web会議)	① 車工会カーボンニュートラルへの取組み方向を共有 ② 2021年度環境関係調査の進め方確認ー環境ラベル、フリー宣言、CO2・ 産廃・VOC
7日	第1回中央技術委員会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② シャシー電動化に伴う架装物動力源検討WG設置提案について合意
8日	特装部会／清掃車小委員会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② TC297、TC195の進捗状況の確認
	トラック部会／部会会議 (書面審議)	① 事業計画1/4期進捗報告 ② 工場見学(11月予定)見学先報告(新潟県)
	バス部会／技術委員会 (Web会議)	① バス車体規格集2021年版改訂に向けた残課題の確認 ② 技術発表会テーマ内容について意見交換
9日	臨時常任委員会 (Web会議)	カーボンニュートラル専門委員会設置 (案) 論議
	中央技術委員会／ 架装物コネクテッドWG (Web会議)	自工会大型車部会との合同会議用資料の確認
12日	特装部会／ローリ技術分科会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② サイトグラスの評価基準作成に向け計画表の準備
13日	中央技術委員会／テールゲートリフタ 技術分科会 (Web会議)	事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換
	トレーラ部会／業務委員会 (当会会議室)	① トレーラPR動画作成シナリオ、費用負担等論議 ② トラック協会講習台本確認
15日	常任委員会 (当会会議室+Web会議)	① カーボンニュートラル専門委員会設置 (案) 確認 ② DX (Digital Transformation) 対応 (案) 論議
	第262回理事会 (当会会議室+Web会議)	① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 第2号議案 カーボンニュートラル専門委員会設置の件 ② 報告事項 1) 2021年度事業計画 本部・部会・支部別1/4期実績まとめ 2) 2021年度1/4期 収支実績まとめ 3) 自動車5団体連携活動状況 4) TC297/WG1・WG2の結果報告 5) 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況 6) 税制改正に関する要望 7) 最近の商用車販売及び会員生産台数 8) 最近の官公庁情報 9) その他報告事項
	講演会 (当会会議室+Web会議)	経済産業省による講演会を実施 テーマ「自動車産業政策の方向性について」

▶ P.3

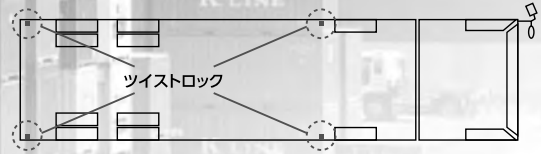
20日	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 堺市消防局からのブレーキ引き摺り火災の原因と対策の考察について確認 ② トレーラ部会工場見学会 実施に向けた意見交換
21日	特装部会／脱着キャリアコンテナ技術 分科会(Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② 「脱着装置付コンテナ自動車の解説」改訂内容の確認
26日	トレーラ部会／製品安全委員会 (Web会議)	① 自動車点検分解整備記録簿の周知活動 進捗状況共有 ② 純正部品使用訴求 各社状況共有
28日	特装部会／ダンプ車技術分科会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② ダンプ車の安全性向上に関する取組みについての意見交換
29日	特装部会／粉粒体運搬車技術分科会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② JABIA規格「エア圧送式粉粒体運搬用バルク車の標準仕様」改正内容の意見交換
	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 共通構造部(多仕様自動車)申請の情報共有 ② R141(TPMS)、R142(タイヤ取付)国内WGの進捗共有
30日	特装部会／サービス委員会 (Web会議)	メンテナンスニュースNo.52原稿打合せ
	特装部会／クレーン技術分科会 (Web会議)	① 前端がオーバーハングした場合の警音器音圧対応の確認 ② 警音器遮蔽時の音圧対応の確認

8月

3日	特装部会／ 塵芥車技術分科会(Web会議)	JABIA規格「塵芥車の製作基準」改正内容の意見交換
	バン部会／部会会議(書面審議)	事業計画進捗報告
18日	特装部会／ミキサ車技術分科会 (Web会議)	① 事業計画の進捗状況確認と課題対応について意見交換 ② JABIA規格「ミキサ車のドラム製作基準」改正内容の意見交換
20日	バン部会／技術委員会(Web会議)	① 新規検査届出書の記載ガイドブック改訂の原稿見直し ② 安全輸送ニュースNo.5レイアウト見直し
	安全衛生活動WG(Web会議)	① 2021年度収集した災害事例の研究 ② 安全気づきシート製造現場での活用事例の共有
23日	トレーラ部会／業務委員会(Web会議)	① トレーラPR動画作成シナリオ、費用負担等論議 ② 緊急事態宣言延長の中でのトラック協会講習への対応打ち合わせ
25日	トラック部会／技術委員会(Web会議)	① 点検整備制度対象車型追加の整備内容まとめ ② 平ボデー安全対策のレイアウト確認
26日	中央技術委員会／ 架装物動力源検討WG(Web会議)	① 架装物動力源検討WG設置の背景、目的の共有 ② 今後の進め方の確認
	トレーラ部会／技術委員会 (Web会議)	① JATMA主催285/85R22.5タイヤ説明会の共有 ② 後退警報国内対応WG報告
27日	第1回カーボンニュートラル専門委員会 (当会会議室+Web会議)	① カーボンニュートラルアンケート中間まとめ報告、論議 ② 取組み事項の進捗報告、論議 ③ 第8回自動車関連団体トップ懇談会対応論議
31日	中央技術委員会／バックカメラ義務化 対応WG(Web会議)	審査／検査方法等について、自動車技術総合機構及び自工会との調整内容について共有及び意見交換実施
	第2回広報委員会	① 2021年度事業計画進捗の共有と論議 ② 車体NEWS秋号の校正と冬号の企画論議

ワゴロック

ツイストロックは、コンテナの四隅に設けられた隅金具に差し込む形で固定する緊締金具で、小さいながらもコンテナの安全輸送を支える重要な部品です。「ワゴロック」は日本製の堅牢で高品質なツイストロックとして、長年にわたり、多くのユーザーの信頼を得ております。



※「ワゴロック」は弊社の商品名となります。



A150型

下方収納式ツイストロック (特許取得済)

- 重量=6.6kg
- 収納=床下150mm
- ボールプランジャー内蔵

A141型

下方収納式ツイストロック
(特許取得済)

- トッププレート(9mm)付きで組み付けやすい
- 重量=7.1kg
- 収納=プレート下141mm
- ボールプランジャー内蔵
- ロック・アンロックのぞき穴付



収納位置

突き出し位置

ロック状態

安心の
日本製

量産対応
OK

全国へ
発送

1個から
対応

固定式
収納式

JIS
適合品

確かな技術、安心の品質。

ツイストロック開発・製造・販売

 **ワゴ株式会社**

〒470-0207 愛知県みよし市福谷町根浦27番地1134 電話 0561-36-0005 (代) FAX 0561-36-0600

詳しい製品情報は弊社Webサイトをご覧ください。

Creating the Future with Twist Locks.

<http://wago-web.com/>



塗装で車両の価値UP!! 長持ちさせます!!
お気軽にお問合せください。

作業効率×高品質

ハイアートCBエコ

COM-BOY
SYSTEM

- 多彩な塗装仕様で、あらゆる塗装シーンに幅広く対応可能
- 豊富な原色で多彩な色へ対応できるカラーマッチングシステム
- PRTR法届出対象外※、特化則・消防法・RoHS指令へ対応
※一部原色を除く



大型車両(バス・トラック)

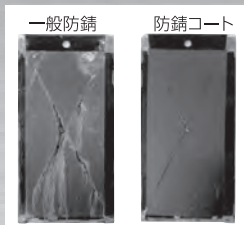
架装車両

特装車両

等に!



足回りが錆でこうなる前に



※JIS K5600.7.1
塩水噴霧試験(1000時間)

錆をシャットアウト!

ハイアートCBエコ

防錆コート



しっかりガード!!

3つのパワーで鉄壁ガード!

- ① 高い防錆力!
- ② 耐チップング性を付与!
- ③ 防振・防音効果!



動画は
こちら

荷台木部(アピトン等)を護る!

ウッドプロテクト

木部の劣化を防ぐ!!

圧倒的低コスト!!

施工は簡単!!



Before



After



動画は
こちら



イサム塗料株式会社

札幌・仙台・東京・名古屋・滋賀・大阪・広島・福岡



イサム塗料株式会社
公式チャンネルはこちら





岡部 雅弘 代表取締役



DATA

- 本社 〒930-0801
富山市中島1丁目10番15号
TEL 076-482-3558
FAX 076-482-3587
URL <http://www.t-trust.toyama.jp>
- 資本金 1,000万円
- 従業員 40名
- 事業所規模
敷地 約12,210㎡
建坪 約6,000㎡
- 車体工業会加入
2018年(トラック部会)



T.トラスト(株)

SDGs時代にマッチした、トラックとバスの修理・再生技術で商圈を拡大

創業60年目の2013年、修理と製造を併せ持つ特殊ボデー専門会社T.トラスト(株)として新たにスタート。安心と信頼の確かな修理・再生技術で、時代にマッチした車両の延命サービスが好評だ。

車体工業会業務部長 小森 啓行

● 特徴・沿革

1953年に「富山くろがね」として発足、1966年に名称をワタヤ商事(有)と改め、自動車及び建設機械の修理・販売を行ってきた。

1989年より富山市小西にてトラックボデーの修理・製造も行う。

2013年にT.トラスト(株)を設立してトラック・バスボデーの修理と製造を併せ持つ、特殊ボデー専門会社としてスタートする。

各工場に、シャーリング&ブレーキプレス等の機械や溶接機を配置し、小西工場では アルミやステンレスの溶接を伴う特殊車両の製作を主力としている。

2015年にトラック・バスの再生工場として呉羽工場を新設、2018年にはOEM専門工場として、富山市中田に中田工場を新設した。

翌2019年にバス専門工場と本社機能を富山市中島に集約し、中島工場を設立。車軸・フレーム、エンジンルームの腐食修理を行う。

富山市内にて、4工場体制となり、各々の工場に特色と専門性を持たせている。また、小西工場に8、中島工場に7、中田工場に4、呉羽工場に4のストール(作業エリア)を設け、合計23ストールで、屋外での作業がなくなり作業の質と安全性を向上させている。



富山市内に4つの工場を構える

製品

― 御社の業務の特徴についてお聞かせください。

当社はトラック・バス向けに様々な鉄製品並びに非鉄金属(アルミ、ステンレス、その他防錆鋼板)を加工して製品を作り上げていく会社です。

熟練技能を持つ職人が、それぞれの得意分野においてトラック・バスの荷台架装、特殊車両の製作、トラックのフレーム修正、レントゲンバス・旅客バス等の腐食劣化を再生する工事、その際必要となる自動車整備、塗装等において、日々お客様の多様なご要望にお応えしております。



キッチンカー



ハイエース大型ルーフデッキ



バス再生作業

― どのような製品を手掛けているのでしょうか？

主に一品製作の車両を手掛けています。コンテナ車、移動販売車、キッチンカー、消防指揮隊車、アルミ平ボデー、特殊飼料運搬車、放送中継車(小型版)、地下工事支援車、移動展示車等、様々な車両を作ります。

電気工事車(機材収納車)、仮送電工事車は、毎年製作しています。小型幌ウイングや小型アルミウイング等の自社製品も製作しています。

バス、トラックの再生延命修理も得意分野で、バスの延命修理時に下回り補強又は取替工事のため、ラバリオリ社(伊)製のリフトを早くから導入しています。最近では近県からの依頼も増えています。



バス専用リフトでリフトアップして、下から腐食部分を目視で確認する



幌ウイング車



電気工事支援車

― 御社の経営方針は？

仕事では負けてはいけない。他社より少しよく働き、他社よりハッピーになる。いろんな意味で会社の内容を良くしていきたいと思います。

SDGsの取組みで、商用車の延命サービス業務を強化していきます。

潰すのではなく、寿命を伸ばしていくサービスは、ニッチ市場ですが、長野県、新潟県南部、石川県、福井県、愛知県からも仕事の依頼があり手応えを感じています。

今後も、特にバス関連では、広く深く仕事を進めてニーズを掘り起こしていきたいと思います。

人

― 御社の特徴は？

多種多様な仕事が入るため、標準化は難しいが、社員には仕事に誇りと責任を持つ、いい意味での職人気質の醸成を図っています。

また、全従業員に対して報奨金制度を取り入れています。毎月の目標達成への報酬、年4回の所定労働時間の工賃売上に対する工賃オリン

ピックの報奨金で、生産性に対する評価(賞与連動)を行い、達成感と創意工夫の意識を高めています。



― 次世代の教育について

「先輩が正しければ後輩も育つ」との考えの元、社員満足度の向上と評価・報奨体制の確立で目標を明確に持ってもらいます。

整備士免許、CAD免許、大型免許等の取得を促すことで、新たな技術・知識を身に付ける機会も増やしています。

トラックの後退事故抑制を目指した商品の充実化

(株)コシダテック

(株)コシダテックは1930年に越田商会として創業、1933年から三菱電機(株)の自動車関連製品の東日本総販売代理店の業務を開始し、自動車メーカーへの直納および、アフターサービスの技術的サポートを担ってきた。モータリゼーションの発展とともに取扱製品を増やし、事業規模を拡大してきた。

90年以上の歴史の中で、取り扱う製品とサービスは、自動車関連事業に留まらず、グループ企業によって様々な事業も展開している。1982年に三菱電機(株)の電子デバイス向け半導体の販売代理店となり、現在では三菱電機(株)製以外の半導体も数多く取り扱い、国内外に供給している。

1993年に携帯電話販売事業を開始、市場黎明期から直営ショップを運営し、全国に50店舗以上を構えている。

リテールビジネスの経験を積み上げ、2003年には自動車用品販売店「オートボックス」のフランチャイジーとなり、自動車産業への部品供給からアフターマーケットまでの幅広い領域においてノウハウを蓄積している。2009年にはバイク用品店「ライコランド」のフランチャイズ運営を承継し、他にもバイクのレストアショップを全国に展開する等、事業領域の拡大に挑戦し続けている。

トラック用バックカメラのプロフェッショナル

(株)コシダテックは30年以上、トラック用バックカメラを取り扱っているため、ノウハウや商品知識を豊富に持つ。トラックユーザーから要望が多い破損防止用のカメラプロテクターや超音波で障害物を探知し、音やモニターでドライバーに伝えるトラックソナー等、三菱電機(株)では対応しきれない製品群は、(株)コシダテックが開発して、三菱電機(株)のカタログにオプションとして掲載していた。

三菱電機(株)によるバックカメラ事業の譲渡等、近年、バック

カメラ関連企業に様々な動きが出てきている。装着義務化のニュースも耳に新しい。業界全体が過渡期の中で、小型カメラやトラックソナーのラインナップ強化等に取り組んだ。

トラックソナーとコンパクトカメラ「C-700」

慢性的なドライバー不足で、普通免許で運転できる2トントンの接触事故は増加傾向にある。特にコンビニ配送や飲料配送等、頻繁に前進後退を行う業種では、バックカメラが付いている車両でも、10%の接触事故が発生しているという。

庇や軒先は、接近するとアルミバン後方上部のカメラの死角に入り、後退時に接触しやすい。このバックカメラ搭載車両にトラックソナーを後付けすることで、接触事故が2%に減少したデータもある。このように併用システムは予防安全効果が高いが、装着スペースにも限りがある。

トラックソナーとの併用需要を掘り起こすため、「小型で高品質」のコンセプトを元にカメラ

開発が進められた。ライン製造で装着されるバックカメラの



トラックソナー インジケーター

要求スペックを収集し、あらゆる面で最高品質を目指した。部品や材質の選定やテストの繰り返しで、構想から発売まで、ほぼ3年の歳月を費やした。昼夜問わず、都内の道路を走り回りながら、解像度や明るさより「見やすさ」を重視してモニターの映り具合をチェックした。

完成した「C-700」は従来品比約45%の小型サイズを実現し、独特な形

状のブラケットによって、今まで取り付けにくかった



特殊形状のブラケットで上下左右の自由な位置に設置することが可能

場所にも設置できる。理想に近い視界を確保して、業務車両の安全を強力にバックアップする。また、より良い商品を市場に提供できるように、品質の安定化にも継続して取り組んでいる。

市販部 営業二課長
小倉 朗市販部 部長
渡辺 靖行自動車技術部長
鈴木 利雄

(株)コシダテック 代表取締役社長 越田 亮三

お客様により価値あるサービスを提供するため、常にチャレンジし続けます。

【本社】〒108-8570 東京都港区高輪2丁目15番21号

Tel : 03-5789-1644

<https://www.koshida.co.jp/>

私たちは資材部会を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は会員の強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対して、積極的な協力体制を目指しています。

「VOICE」では、部会会員会社の紹介や製品が開発されるまでのエピソード等を紹介していきます。

冷房能力2000WのDCクーラー

ドメティック(株)

ドメティック(株)は、スウェーデンに本拠を構え、グローバルにモバイルリビング製品を提供するDOMETIC社の日本法人である。「MOBILE LIVING MADE EASY.(移動を快適にする)」をコンセプトに、美しいデザイン、高機能・高性能を備えた製品を世界100か国以上で販売しており、日本でもアウトドア愛好家の間で知名度は高い。

世界的な家電企業のElectrolux社の事業部から別会社として2001年に分離独立し、積極的にM&Aを行い、キャンピングカーやプレジャーボート、商用トラック向けの競争力のある製品を揃え、事業領域を拡大していった。

そのため、DOMETIC社が取り扱う製品群は、冷蔵庫、電源ユニット、セーフティ&セキュリティ、調理器具、エアコン、ボイラー、トイレ等、多岐に渡っている。DOMETICブランドは世界中の様々なチャネルで販売しているので、インターネット等で販売されて、実際には、まだ日本国内で扱っていない製品の問い合わせが来ってしまうことも多々あるとのことである。

近年のコロナ禍の影響もあり、日本国内でもキャンピングカーブームは長く続いている。同社では今後も「移動する暮らし」は拡大していくと見込んでおり、日本国内でもポータブル冷蔵庫をはじめとしたDOMETIC製品の需要は広がっていくとみている。

移動する乗り物を快適にする

海外では日本のように自動販売機がどこにでもあるわけではないため、DC電源を利用する高性能で大容量のポータブル冷凍・冷蔵庫を積んでドライバーが飲み物を冷やしている。



人気のポータブル
冷凍・冷蔵庫



RV事業部
部長
千葉 啓司

セールスエンジニア
営業グループ RV div.
諏訪部 名智

セールスエンジニア
RV事業部
高岡 成樹

マイナス18℃まで冷やせるため、アイスクリームを入れることもでき、日本国内でも人気の製品となっている。

DCクーラー「RTX 2000」

欧州のトラック向けに設計・開発された「RTX 2000」は、2000Wの冷房能力で、ルーフトップに後



スタイリッシュなデザインの本体
RTXのプロモーション動画(英語) ↓

付けすることができるDCクーラーである。日本国内では主にキャンピングカー向けに12V仕様が販売され、ユーザーからの注文を受けてキャンピングカービルダーが取付け作業を行っている。

冷房能力は環境の影響を受けるため、一概に表現することは難しいが、日本の夏の気温・湿度下であれば、商用車向け24V仕様の場合、推奨バッテリー(容量225Ah)の搭載で、6~8時間、キャビン快適温度に保つことができる。

摂氏52℃に達する豪州でのフィールドテストや、塩水噴霧試験、振動試験、防水試験等、世界中で使用されることを想定した過酷な環境テストをクリアし、堅牢性も併せ持つ。

詳細な取付説明書が付属されているが、天窓がない場合、ルーフに穴を空ける必要があったり、車両毎に一品一葉で検討しなくてはならない。排水ドレインの扱いや、独立したバッテリーからの電源の取り出し等、問い合わせも多く、現場に出向いてのサポートが必要なこともあるという。

地球温暖化対策で、駐車中はバッテリーでクーラーを動かすニーズは潜在的に高まっている。商用車では長距離輸送トラックの休憩時のパーキングクーラーでの活用が考えられるが、日本国内ではまだ商用車への取付実績はない。

今後「RTX 2000」の国内商用車のルーフトップへの後付けには、商用車架装の技術と経験を持つパートナーの協力が必要不可欠である。ドメティック(株)では、ベストな取付方法を共に考えてくれる協力会社を募集している。

ドメティック(株) 代表取締役 大河内 孝浩

MOBILE LIVING MADE EASY.

【本社】〒108-0023 東京都港区芝浦2丁目13-9

前川芝浦ビル2 Tel: 03-5445-3333

<https://www.dometic.com/ja-jp/>



超小型モビリティは、人口減少、高齢化、地球環境問題等の様々な課題に直面している現在において、軽自動車より小さく、原付二輪車より大きいという特徴から、これまでの自動車ニーズの隙間を補完する車として、実用化に向け様々な場面で実証試験が行われてきた。超小型モビリティの現状、そして将来について報告する。

Q1 「超小型モビリティ」とはどのようなもの?

超小型モビリティについて国土交通省は、「自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両」と定めている。そして、その大きさや定格出力に応じて、3つ(第一種原動機付自転車、軽自動車(型式指定車)、軽自動車(認定車))に区分される。

	①第一種 原動機付自転車 (ミニカー)	軽自動車			普通自動車 (小型自動車)
		②超小型モビリティ (型式指定車)	③超小型モビリティ (認定車)	軽自動車	
最高速度	60km/h (道路交通法)	構造上60km/h	個別の制限付与	構造上の制限なし	構造上の制限なし
定格出力	0.6kW以下	0.6kW超	0.6kW～8.0kW	0.6kW超	0.6kW超
長さ	2.5m以下	2.5m以下	3.4m以下	3.4m以下	12m以下 (4.7m以下)
幅	1.3m以下	1.3m以下	1.48m以下	1.48m以下	2.5m以下 (1.7m以下)
高さ	2.0m以下	2.0m以下	2.0m以下	2.0m以下	3.8m以下 (2.0m以下)
事例	 トヨタ車体 コムス	 トヨタ C+pod(シーポッド) <現在、数量限定販売期間>	 日産ニューモビリティ コンセプト<販売未定>	 スズキ ワゴンR	 トヨタ カローラ

【出典：国土交通省HPより作成、写真は各社HPより】

① 第一種原動機付自転車(ミニカー)

超小型モビリティのうち、第一種原動機付自転車の満たすべき定格出力・大きさ等を満たしているもの。

② 超小型モビリティ(型式指定車)

超小型モビリティのうち、原動機付自転車の大きさ以下の軽自動車であって、最高時速60km以下の自動車のうち、高速自動車国道等※において運行しないものが該当。この区分の超小型モビリティには、最高時速60km以下の車両であることを車両後面の見やすい位置に表示する必要がある。

※ 高速自動車国道(高速自動車国道法(昭和32年法律第79号)第4条第1項に規定する道路をいう。)

又は自動車専用道路(道路法(昭和27年法律第180号)第48条の4に規定する自動車専用道路をいう。)



③ 超小型モビリティ(認定車)

超小型モビリティのうち、認定制度によって認定されたもの。大きさ、性能に対する条件のほか、(1)高速道路等は運行しないこと、(2)交通の安全と円滑を図るための措置を講じた場所において運行すること、等の条件を付すことで公道走行が可能。

Q2 「超小型モビリティ」はどのように使われているの?

1～2人乗りの超小型モビリティは、①低速走行による安全性向上、②車体が小さく運転が容易、③ラストマイルの移動手段、④駐車スペースが小さい、⑤環境負荷低減などの特徴から、行政や企業が連携しカーシェアリングを中心に利用されている。

また、郵送事業や民間の配送でも利用されており、導入前に使用していたガソリン車と比較し、燃料費等の経費が1/3～1/4削減できるなど、超小型モビリティの経済的なメリットが発現している。



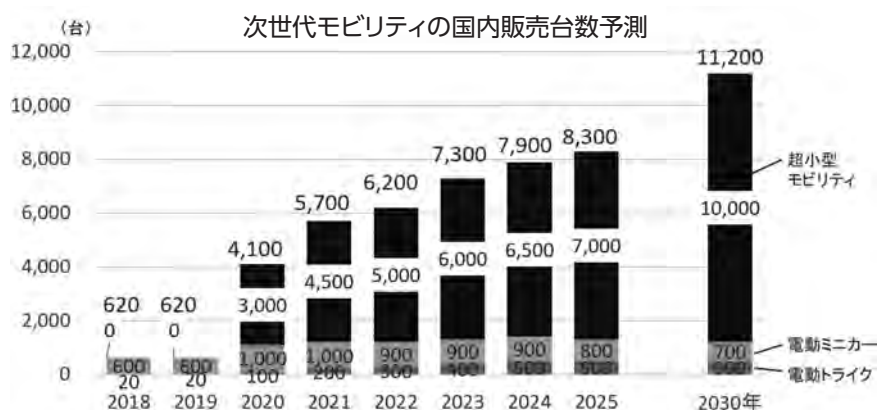
【出典：国土交通省HP「郵送事業における活用事例(愛知県名古屋市)」】

Q3 「超小型モビリティ」の販売状況は？

(株)矢野経済研究所が、2020年3月に次世代モビリティ市場の調査を実施し、国内市場概況、海外類似市場の概況、主要メーカーの事業戦略を明らかにし、2030年までの次世代モビリティの国内販売台数予測を公表した。

これによると、最もニーズが高いとされる2人乗り超小型EVは、2019年に至るまで認証する枠組みが設定されず、市場の先行きが不透明なままであったが、国土交通省の車両安全対策検討会にて「2人乗り小型EV」を「超小型モビリティ」として正式に軽自動車の一種と区分することで、2020年からの市販化を進める方針が

固まった。これにより、2020年以降に国内の次世代モビリティ市場が大きく成長する可能性が出ており、2020年の次世代モビリティの国内販売台数を4,100台になると予測している。



注1. 国内販売台数ベース

注2. 次世代モビリティのうち、電動トライク(側車付軽二輪)、電動ミニカー(原動機付四輪)、超小型モビリティ(超小型モビリティ認定制度では2人乗り小型EV)を対象とし、国内販売台数を予測

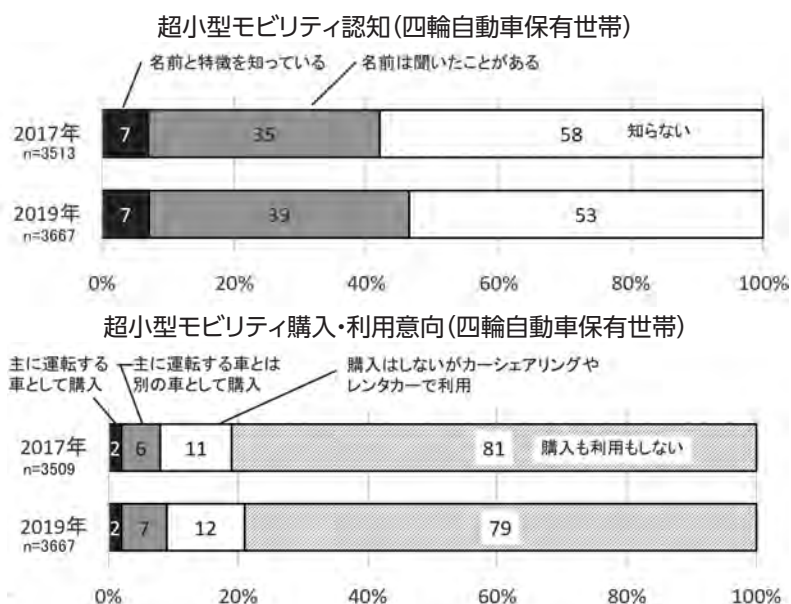
注3. 2020年以降は予測値

【出典：(株)矢野経済研究所調査資料から作成】

Q4 「超小型モビリティ」普及の課題は？

日本自動車工業会の調査によると認知度は若干上昇しているものの、購入・利用意向については大きな変化は見られない。

普及促進に関しては、新たな移動手段としての社会受容性の向上、他の運転者・歩行者の理解増進策への取組みが重要となる。そのためにも引き続き多くの方に「超小型モビリティ」を直接体験していただくとともに、費用低減策の推進、利用し易いインフラの整備などを行っていくことが必要である。



【出典：「乗用車市場動向調査」日本自動車工業会(2020年3月)より】

Q5 「超小型モビリティ」の今後は？

「多様なモビリティ普及推進会議(経済産業省)」のとりまとめで、今後の可能性について右のように記されている。

多様なモビリティが今後も社会生活の中で利用され、豊かな生活につながっていくことが大事である。社会問題の解決に寄与できるモビリティ、そしてモビリティが更に活躍できるよう、車体架装についても多様なモビリティと一緒に取り組んでいくことが重要となる。

小回りが利いて便利、駐車スペースが小さいといった小型電動モビリティの持つ特徴には消費者からも高い期待が寄せられており、新たな移動手段としての社会受容性の向上、価格の低減、まちづくりと一体となった安全性の確保などによって、今後、高齢者及びラストワンマイル向けの移動手段として普及が進んでいく可能性を秘めている。

加えて、MaaSと組み合わせることで、利便性の向上、新たなユースケース創出などが促進され、更なる普及の後押しとなる可能性がある。

働くクルマたち

社会に欠かすことができない車体工業会会員が製造している多種多様な「働くクルマたち」について、毎回車種を選定し、その特徴等、日ごろは目にしないところを含めて紹介していく。

第34回は作業・工作用車両について特種部会から紹介する。



第34回：作業・工作用車両

1. 作業・工作用車両とは

作業・工作用車両は、電気・ガス・水道・電気通信等の各作業及び特種な作業を行うための特種な設備を車体内に有する車両で、それぞれ車体の形状により構造要件が定められており、それに基づき製作される。

今回は、道路維持作業車・照明車・ガス作業車・電源車・機械工作車(タイヤサービスカー)を特種部会から紹介する。

2. 道路維持作業車

記事・写真提供：(株)トノックス

道路維持作業車は、その名のとおり道路の維持・修繕時、または道路標識の設置時等に必要な特大標識を後面に備えた自動車。荷台は作業に必要な機材がたくさん積載可能な構造となっている。

高速道路で作業する車両は、後面に追突衝撃緩和装置が標準装備として採用されており、安心・安全に作業可能な環境をつくり出している。車両によっては、前面にスノープラウを容易に取り外しできる構造とし、除雪作業を行うことも可能。また、移動式クレーンを装備し、重量物の設置、除去も可能なタイプもある。



高速道路維持作業車(後面衝突衝撃緩和装置付)



移動式クレーン付標識車

3. 照明車

記事・写真提供：コーワテック(株)

夜間における災害現場の応急復旧作業や監視等の照明として活躍している。伸縮可能な水圧式ポールを2本搭載しており、ポール先端に備え付けた照明により広範囲を照らすことが可能。また光源はLEDで瞬時に点灯・消灯が可能、僅かな時間で最大光量に達する。

PLC(プログラマブルロジックコントローラ)を用いたシンプルなりモコン操作や安全装置を設けることによりヒューマンエラー対策を施している。

右写真のベース車は、いすゞ 2RG-NKS88AN、車両寸法4,700mm×1,735mm×3,450mm(全長×全幅×全高)。

※ 本車両は英和(株)様並びに極東開発工業(株)様からのご依頼により製造している。



照明車

4. ガス作業車

記事・写真提供：(株)佐藤自動車工業所

ガス事業遂行のために使用する自動車で、ガス設備工事作業に必要な作業台等の設備を有し、作業台等を室内に設け、資材を加工等するための万力、その他の加工等を行うための設備を有した車両。ユーザー要望に沿ったデッドスペースの無い車両が求められる。



1BOXタイプガス作業車の室内



トラックタイプガス作業車の室内

5. 電源車

記事・写真提供：(株)河野ボデー製作所

各地に移動して電力を供給する電源車は、震災以降電力の必要性からますます需要が高まっている。車体内には主たる構成機材として、エンジン・ラジエーター・発電機・操作盤・ケーブル・消音器等から構成され、それぞれ一葉一葉のレイアウトで製作されている。また、発電の際の騒音対策のため、通常防音・消音機能を備えたボデーとなっている。ボデー形状は、構成する機材の大きさ及び重量により、バンボデータイプ・平ボデー搭載タイプ・ワンボックスタイプ・トレーラタイプと多岐にわたり、ユーザーは主に、電力会社・通信会社・イベント会社・設備管理会社・製造工場であり無くてはならぬ裏方の車両として活躍している。



バンボデータイプ電源車



6. 機械工作車

記事・写真提供：(株)河野ボデー製作所

機械工作車は、お客様の使用用途に合わせた様々な車両があるが、現地に外向き各種のサービスを提供する車両を総称している。今回はタイヤサービスカーを紹介する。

タイヤサービスカーは、タイヤの交換作業やパンク修理を出張して行う時に使用する車両のこと。

貨物車はノーマルとスタッドレスタイヤを組み換える時期が有り、運送会社の多くは複数台の車両を保有しているため交換のたびに店舗へ1台ずつ入れたり、待ち時間も発生し、効率が悪い。そこでタイヤサービスカーで現地へ出張することで、その拠点で組み換えが可能となりユーザー負担を軽減できる。種類は大型車用と小型車用があり、どちらも兼用できる車両もある。搭載機材は主に発電機・コンプレッサー・タイヤチェンジャー・ balancer・ジャッキ及びエアリアル等。

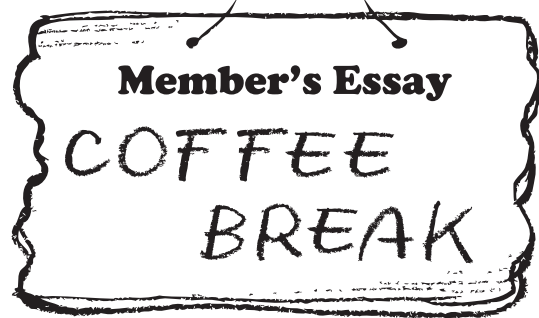


タイヤサービスカー

7. 作業・工作用車両年度別生産台数

単位(台)

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
道路維持作業車	219	199	189	211	197	223	194	246	252	265
照明車	3	5	3	9	4	4	5	11	24	100
ガス作業車	91	91	75	90	106	113	111	83	86	93
電源車	71	57	39	47	40	44	54	37	64	54
機械工作車	16	24	23	24	35	34	30	57	43	53
合計	400	376	329	381	382	418	394	434	469	565



錆取りとテスト走行

日産車体(株) 実験部 電子電装GR ^{くりはら たけし} 栗原 武

小学生の頃、錆びた自転車に色を塗り、母に褒められたことがきっかけだと思っています。刷毛などなくて使い古した歯ブラシで錆の上から塗料を塗ったことを覚えています。16歳でバイク免許を取得し、一人旅もいろいろしてきましたが、今は、修理や調整でパフォーマンスの変化を感じるのが楽しいお年頃。今ほどレストアがメジャーでなかった時代から、処分に困ったバイクや農機具などを引き取り、もう一度目を覚まさせる過程を楽しんでいます。

ところが、最近は、旧車が高騰して手に入りません。農機具も回収業者が多く、私に回ってきません。そんな中、昨年7月にバイクの売却話があり、二つ返事で見に行きました。廃業されるという自動車整備工場の隅で、埃と油にまみれ、私に出会うのを待っていたかのよう。その場で「買います」と返事をして自宅へ運んだ次第です。



レストア前のバイク

久しぶりの獲物に、作業はロケットスタートです。極力定時に帰宅し、自宅の作業場で2時間残業の毎日が始まりました。錆取り後の夜は、純正部品の検索・注文、欠品の代替え品検索、経費を抑える方策など毎日やることがたくさんあります。一日1個でも進めないと先は見えません。

まずはエンジンスタートからです。異音なく好調なのを確認して次のステップへ進みます。屋内保管27年のおかげで錆は少ないものの、ガソリントank内は地獄でした。27年物のガソリンです。しばらくは何を食べてもその匂いでした。

夏季休暇やコロナ禍の巣ごもり生活で、バイクは、9月

中旬には車検を取得し公道へと復活。すぐに前のオーナーの所へ行きまたがってもらったら、大喜びでした。

その後、社内でホンダCBに乗る3名と「ドリームCBクラブ」を発足させ、2回ほどツーリングを楽しんでいます。年齢層が高いので、走るよりおしゃべりが多い「おばおじさん」の集まりですがね。公道復帰した私のバイクは、「ホンダCB750 ボルドルII 1981年式」。同年代の方にジロジロ見られます。

今は、1985年式のスズキ2サイクル車に取り掛かっています。いつも手が真っ黒です。あと何台復帰させられるか!? また、母に褒めてもらいます。



ドリームCBクラブのメンバーとツーリング 右が筆者

わたしにとってのコーヒー

山崎自動車(株) ^{やまざき ひろし} 山崎 広志

コーヒーとは、「うまい」「好きな飲物」「大人のかっこよさ」「あじのある人」そして「コーヒーのつまみは、たばこ」てな、ところかな！

この言葉をお聞きになっても、『なんのこっちゃ?』と、ほとんどの方々には、意味不明だろう。

たばこって、「どんな時が一番うまいのか?」言い換えると、「どんな時が無性にほしいのだろう?」「どんな時のたばこがありがたいと思うものなのか?」「どんな時にたばこを我慢することができないのか?」実際に自ら実験してみた。

実験1、食後のいっぽく

朝食後、いつもように、台所の換気扇の下におもむき、いつもならたばこに火をつけるところだが、我慢してみた。でも耐え難いので、何か気のまぎれることはないかと考え、歯を磨いてみた。歯を磨き終えると、あらっ！早く、会社に行かなくては！着替えもしなきゃ！～トイレにも挨拶して！いろいろ追われてやることがあると、喫煙願望をしのぎ切ることが出来た。食後の満腹感があるのだろう。人間何か満足するものがあると、また、遅刻の焦りの力もかりると、たばこ願望をしのぎ切ることができることは、意外にたやすいものだった。

実験2、ほろ酔いのいっぽく

まだ、コロナ渦のこの字もないとき、飲み歩きにかなり真剣に取り組み、心地よく飲みあかすことに最大のエネルギーを費やしていた。そんなある日の飲み屋さんで、ほろ酔いかげんになり、舌の回りもゆるやかになり、たばこを我慢するのが辛くなってきたとき、カウンター向こうの店員さんの『山崎さん、最近あまり飲みにてでないの〜?』、との問いかけに、「あ〜〜〜そうだね〜〜結構いそがしくてさ〜あんまりででないかな〜」(しらばっくれの嘘つきの返答)『そうなんですよ〜〜〜久しぶりですものね〜』(皮肉のお言葉)そんな話で、冷や汗をかいて、たばこを吸うことを忘れることができた。

好きな飲み歩きができていいる満足感があるのだろう。ピンチ打開の答弁を必死で考えてるおかげもあり、たばこ願望を抑制することができた。

実験3、休憩のいっぽく

ある日の休憩タイムのこと。コーヒーを飲みながら、いつもならたばこを吸うところだが、我慢しようと試みた。かなり辛いので、なにか気をまぎらそうと美味しいコーヒーをグイッと飲んだ。しかしたばこ願望が倍増してきてしまった。水を飲んでみるが、たばこを忘れられない。そこで、行きたくもないがトイレを訪問してみる。トイレの帰りに同僚に会い、あれこれしゃべっているうちに、休憩終了のチャイムが鳴り響く。たばこ我慢は、時間切れ終了となった。大した仕事もせずに、達成感もなく、休憩のコーヒーを飲んでしまうと、たばこ願望をまぎらすには、時間切れに持ち込む以外ない。

以上の実験結果から、休憩のコーヒーを飲んだ後が最も我慢が難しく、「わたしにとってのコーヒー」のつまみがたばことなっている理由が実験で実証できた。

みなさんには、「たばこ」はお薦めしませんが、疑問に思うことを自ら実行してみるところをお薦めします。



アナログレコードの魅力

(株)五光製作所 会長 はしもと こう 橋本 更

最近、CDよりもアナログレコード(以下レコード)の人氣が、特に若者の間で高いようである。私は趣味としてオーディオを60年近く楽しんでいるが、勿論当初はCDは存在せず、レコードしか無かった。

レコードは、皆さんご存知だと思いますが、30cm径の樹脂製円盤に溝が刻まれていて、回転する円盤に針(以下カートリッジ)を落とすと音が出る。不思議だ！私の浅はかな知識では、溝に物理的に接触している針を通して、何故、左右の音が分離、融合して立体的に音が聞こえるのか、理解できない。いずれにしても良い音が聞こえるのである。只、オーディオ装置を購入した当初は、満足できる音ではなかった。スピーカーの配置、間隔や向き(正面か内振り角度)等、いろいろ試したが、なかなかうまくいかない。そこで、機器の一部の交換を試みた。手っ取り早いのは、レコードの溝に接触するカートリッジの交換である。同じメーカーのグレードの高い製品に付け替えてみた。効果は抜群で音の厚みとリアリティーが増した。ベートーヴェンの交響曲9番「合唱」を聞くと、第4楽章フィナーレで男性独唱がオーケストラの奥中央の右から聞こえる定位感、また、右手低音群コントラバスの厚い響きにはびっくりし大変感動もした。カートリッジの交換によって音が大きく変わることを初めて知ったことになるが、以後幾つかのカートリッジを購入し、音の変化を楽しむことになる。



カートリッジを交換して音の変化を楽しむ

カートリッジAは、広帯域再生が得意で、例えばバイオリン協奏曲でオーケストラをバックにバイオリン独奏がフツキリと浮かび上がるように再生し、カートリッジBは、そんなに広帯域再生、特に高音部が余りスツキリと伸びていないが、音に充実感があり、例えばジャズのピアノトリオのスイング感をうまく再生する等、それぞれ特徴があって大変面白い。

今年5月に社長を退任し、会長になって時間的余裕が生まれたので、改めて我が家のアナログレコードコレクションを聞き直したいと思っている。



レコードと筆者

第7回

会員の誰もが参加できて、SNSの投稿記事を見るような楽しい記事を掲載していきます。皆様のご参加をお待ちしております。

いどばた会議

未来日記 Part2

自慢の手料理??

くらべ たかあき
(株)トノックス 倉部 貴皓



コロナ禍以前に、友人と飲み会をした時に美味しい料理に出会い、自分で作ってみようと思い、材料を買いにいきました。料理名は、胡瓜のオリーブオイル漬け。

味はさておき(笑)、当時の記憶が蘇りました。早く友人と食べたいです。



早く使いたいキャンプギアの数々

たかき しんたろう
トヨタ自動車九州(株) 高木 伸太郎

ここ数年、ファミリーもソロもキャンプが楽しくなった。様々な新しいギアの発売もその一因。

結果、思わずポチっと。だがコロナ禍で思うように行けていない。

嫁に内緒で買ったギアをもって娘とキャンプに行きたい！(笑)



コロナ...

日本フルハーフ(株) たどころ かずひさ 田所 和寿

息子が所属する東京中野リトルリーグは東京大会で優勝し、いざ全国大会へと意気込んでいた矢先、主催者(MLB)の判断で開催中止に...

くじけずに頑張れ!



テイクアウトはもう飽きた。

(株)林田製作所 はやしだ り か 林田 理花

お店の中で香りに包まれ、じらされ待つ時間は最上級の至福。一口食べたらとろけて泣く。

『浜名』のウナギも大好きだけど、『かぶと』と『鰻家』のうなぎも食べたいな。



Coffee Break

ホンダオートボディー(株) しみず ひろみ 清水 裕美

家で過ごすことも多くなり、今まではお店で挽いた粉でコーヒーを淹れていたのですが、最近手動のコーヒーマルを買い、豆から挽くようになりました。

挽きたての香りは格別で、いろいろな銘柄の豆を試して、楽しんでいます。



富士山山頂で御朱印をもらおう!

イサム塗料(株) まつなが 松永 みゆき

前回富士山に登った際、楽しみにしていた御朱印帳を忘れて落ち込んでた先輩を連れて、もう一度山頂まで登ってもらいに行きます!

次は山頂で御来光を見ながら食べるカップラーメンを持っています。



司工業(株)

塗装部

いとひさ しょうた

糸久 翔太さん



我が社の



トヨタ車体(株)

製品企画ZU

ひろやす しんじ

廣保 伸次さん



やりがいと
達成感のある
仕事です。

愛される
小型バスとは何かを
追求しています。

Q1 どんなお仕事ですか？

弊社ではトラックのボデーを製造する仕事をしています。私はトラックのパーツ塗装を担当しています。経験が必要なところもありますが、その分やりがいと達成感のある仕事です。日々精進を心がけ毎日の仕事に取り組んでいます。

Q2 仕事で楽しいときは

自分が塗装した車両が走っている所を見ると嬉しく思います。また部品を塗装した際に前回よりも綺麗に仕上がると達成感や嬉しさが込み上げてきます。

Q3 仕事でつらいこと

この仕事を始めた頃は上手く色を塗ることができず、先輩の手助けがなければ状態が悪くなってしまうこともあり、その度に次こそは上手くなろうと思う気持ちが強くなりました。

Q4 これまでの仕事の中で印象に残っている出来事は？

いつもは下廻りの部品を塗装しているのですが、先輩と協力しあいながらボデーを一から塗った時の仕事は今でも印象に残っています。今までやったことのない内容で苦労も多かったですが、出来上がった時の嬉しさと達成感は今でも覚えています。

Q5 御社のPRをしてください！

司工業株式会社はお客様のご要望にお応えし、スイングボデーなどの最先端の技術と設備で、きめ細かいサービスを実施し、エコアクションの認定を取得した実績を持つ弊社ならではの環境保護にも力を入れた社員一丸となって取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

Q1 どんなお仕事ですか？

コースターの製品企画を担当しています。時代とともに変化していく世界中のお客様ニーズを常に意識しながら、愛される小型バスとは何かを追求する仕事です。乗用車とは違う使われ方をする商用車ならではの観点、感性を大切にしています。

Q2 仕事で楽しいときは

車両開発の中では、事務所や工場の仕事だけでなく、お客様の使われ方、市場環境を調査する機会もあります。外の新鮮な空気を吸いながら、メンバーと一緒にお客様の気持ちを考えることは、新たな視点の気づきとなり、清々しい気持ちとなります。

Q3 仕事でつらいこと

開発業務の中では、頭を悩ませる課題が度々発生します。頭をリフレッシュさせるために、カフェインを多く取ってしまいがちです。そのため夜の睡眠が浅くなって、翌日の仕事に影響が出てしまうことがありました。先のこと(次の日のこと)を考えて、行動しようと思った1日でした。

Q4 これまでの仕事の中で印象に残っている出来事は？

コースターは乗用車と違い、各部品のレイアウトが異なるので、必要に応じ車体から必要な部分を切り取った詳細モデルを製作します。車体の大きなコースターですが、部品は緻密に配置設計されていることが私には大変印象的でした。

Q5 御社のPRをしてください！

トヨタ車体株式会社はコースターだけでなく、ハイエース、グランエースやミニバン他、様々な車種を開発、製造しております。車体工業会の皆様のお力で、より魅力のあるクルマにさせていただき、お客様そして社会に貢献していければと思っています。これからもよろしくお願いします。

2021年1月～6月 会員生産状況概要

① 合計

- 1月～6月の累計台数は前年比17.6%増と、2年ぶりの前年超え
- 3月以降、特に量産車が、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ前年から大きく回復

② 非量産車

- 1月～6月の累計台数は前年比1.2%増と2年ぶりの前年超え
- 平ボデートラック、バン、トレーラ、大中型バスは前年割れとなったものの、特装、特種が前年超え

③ 特装車

- 1月～6月の累計台数は、前年比13.6%増と2年ぶりに前年超え
- 輸送系は同11.8%増、作業系・その他は同1.0%増、輸出は同98.1%増

④ 特種車

- 1月～6月の累計台数は、前年比26.6%増と2年連続の前年超え
- 車いす移動車が同2.7%減となったものの緊急用が同65.0%増、その他が同6.3%増

⑤ 平ボデートラック(除シャシメーカー標準トラック)

- 1月～6月の累計台数は、前年比1.6%減と2年連続の前年割れ
- 小型・軽は同16.5%増となったものの、大型は同9.1%減、中型は同9.2%減

⑥ バン

- 1月～6月の累計台数は、前年比6.4%減と3年連続の前年割れ
- バン(除冷凍・保冷車)は同8.9%減、冷凍・保冷車は同1.2%減

⑦ トレーラ

- 1月～6月の累計台数は、前年比11.3%減と2年連続の前年割れ
- コンテナが同1.4%増となったものの、平床が同9.3%減、バンが同26.9%減、その他特装系が同2.2%減

⑧ 大中型バス

- 1月～6月の累計台数は、前年比62.7%減と4年連続の前年割れ
- 路線が同61.0%減、観光が同86.4%減、自家用が同8.8%減
- 新型コロナウイルスの影響による落ち込みが継続している

⑨ 乗用・小型商用・軽

- 1月～6月の累計台数は、前年比20.8%増と2年ぶりに前年超え
- 国内は同13.5%、輸出は同27.4%共に増加

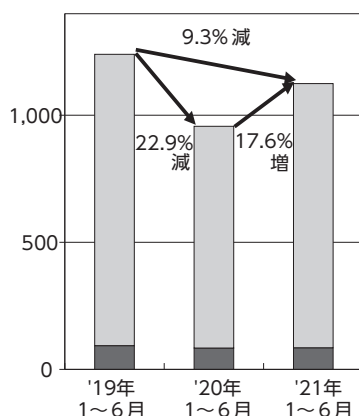
合計 (非量産車+量産車)

量産車

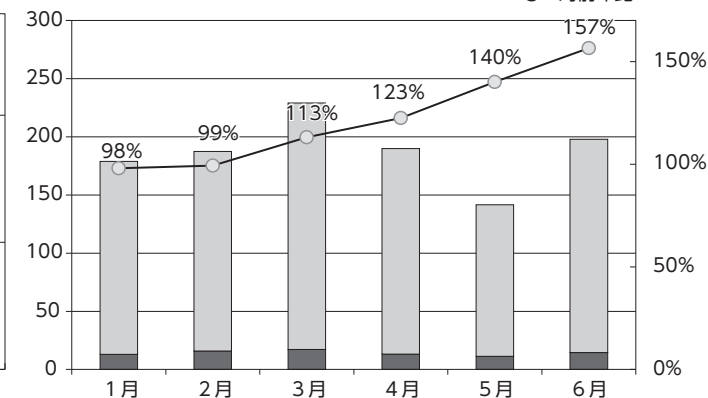
シャシメーカー標準トラック
小型/コムーターバス
委託生産の乗・商用車

非量産車

生産台数(千台)



生産台数(千台)



非量産車合計

特装

特種

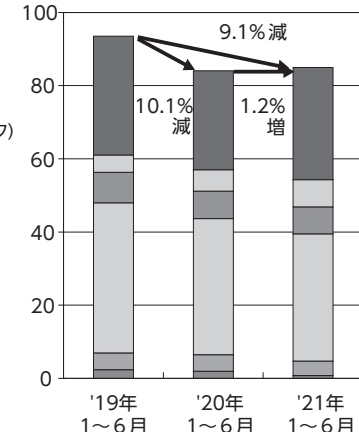
平ボデートラック
(除 シャシメーカー標準トラック)

バン

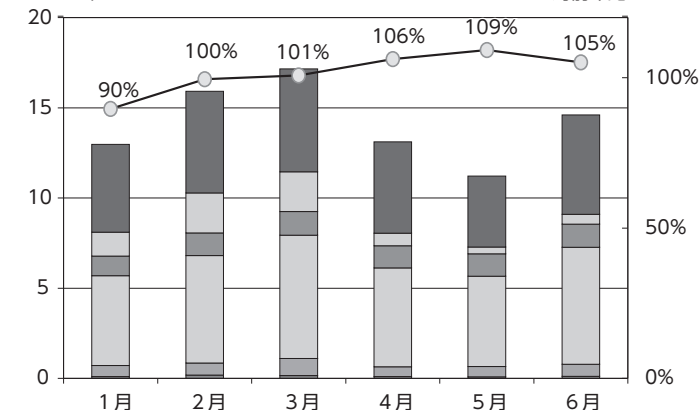
トレーラ

大中型バス
(除 小型、コムーター)

生産台数(千台)



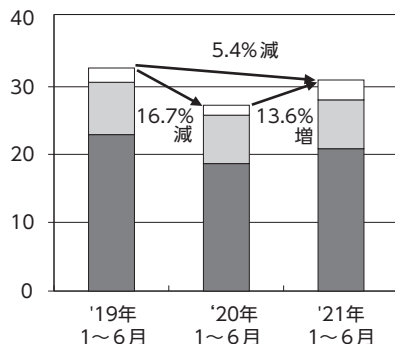
生産台数(千台)



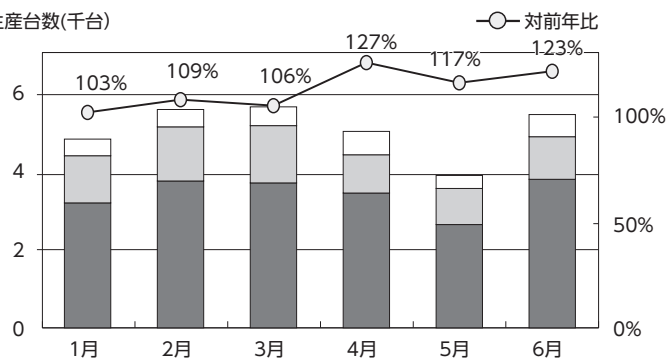
特装車

□ 輸出
■ 作業系・その他
■ 輸送系

生産台数(千台)



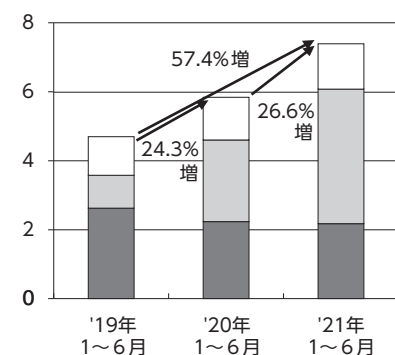
生産台数(千台)



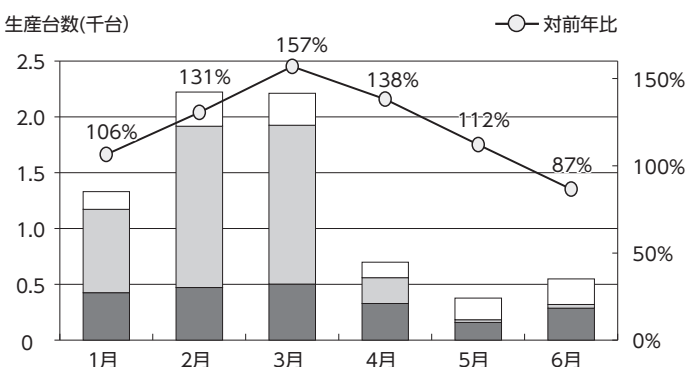
特種車

□ その他
■ 緊急用
■ 車いす移動車

生産台数(千台)



生産台数(千台)

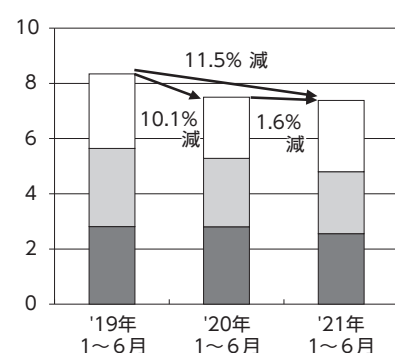


平ボデートラック (除 シャシメーカー標準トラック)

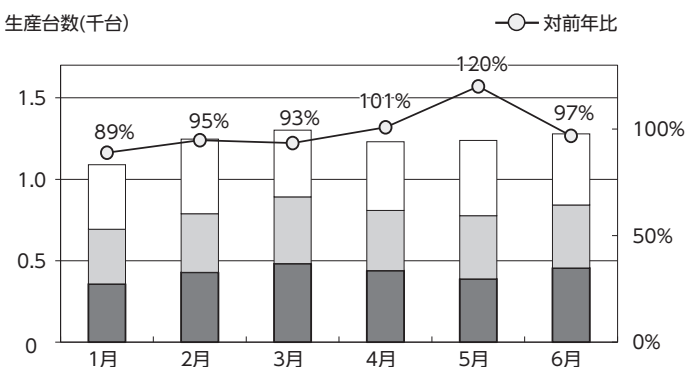
平ボデートラック
(除 シャシメーカー
標準車)

□ 小型・軽
■ 中型
■ 大型

生産台数(千台)



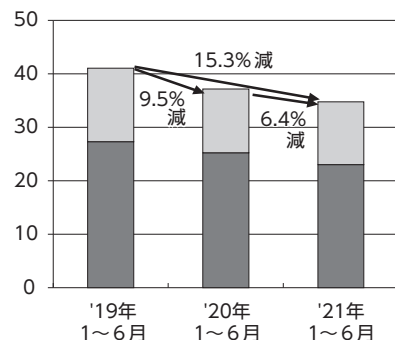
生産台数(千台)



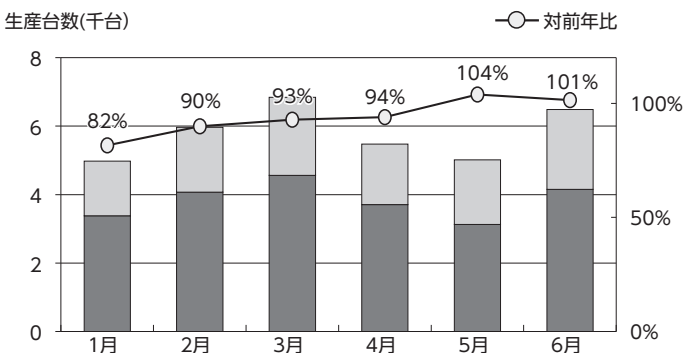
バン

■ 冷凍・保冷車
■ バン
(除 冷凍・保冷車)

生産台数(千台)

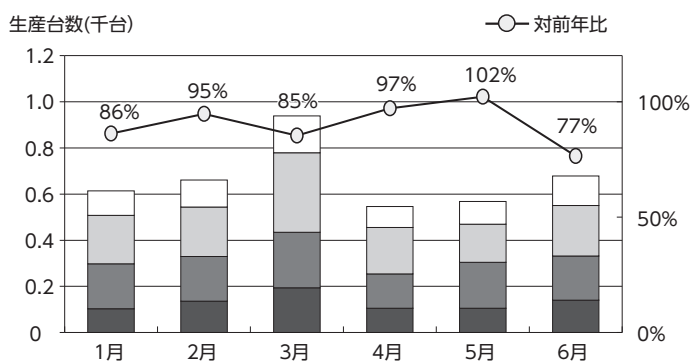
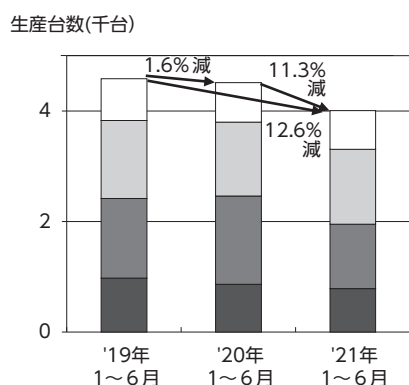


生産台数(千台)



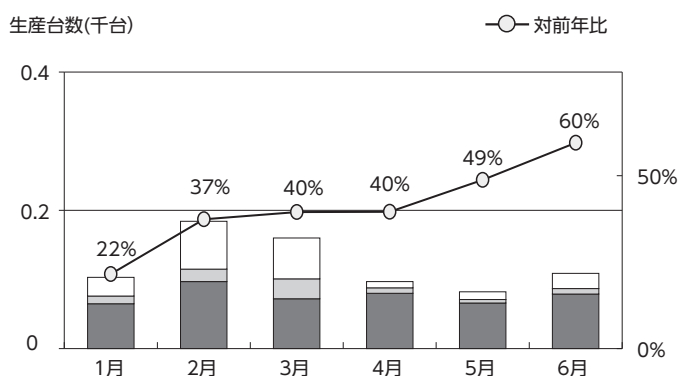
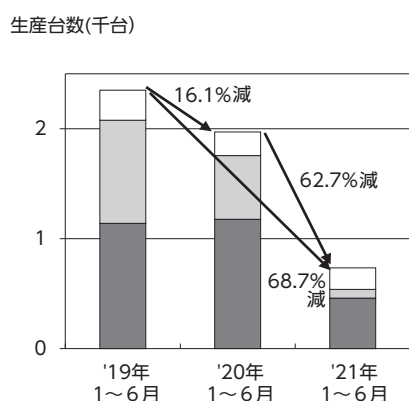
トレーラ

- その他特装系
- コンテナ
- バン
- 平床



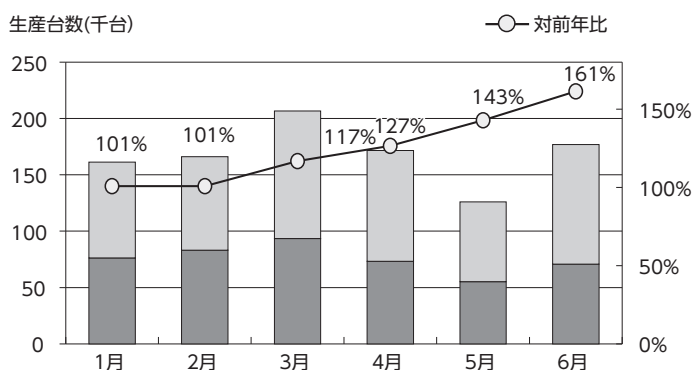
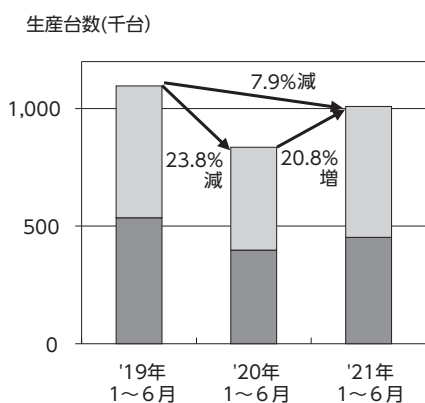
大中型バス

- 自家用
- 観光
- 路線



乗用・小型商用・軽

- 輸出
- 国内



車体工業会会員生産台数の公表について

昨今の急激な景気変動に伴う業界全体の状況をいち早く社会全体へ公表するために、生産台数データを当会ホームページに公開しておりますので、下記サイトをご覧ください。

<http://www.jabia.or.jp/data/index.php>





編集後記

今年の夏は夏らしくなかった。これも気候変動が少なからず影響していると思う。豪雨による土砂崩れ、水害の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げるとともに、早期の復旧、復興をお祈り申し上げます。

夏野菜の価格は安定していたのも束の間で値上がりに転じ、ビックリする値札が目についたのも気候変動の影響か。あらためて思うのは、新鮮なものが「当たり前」のようにいただけることについては、栽培し収穫される農家の皆さん、身近なところまで供給していただく皆さん、そして全てのエッセンシャルワーカーの皆さんにあらためて感謝とお礼を申し上げなければならない。

東京2020オリンピック・パラリンピックは、アスリートの活躍が世界の多くの人たちに感動と元気と勇気を与え、9月5日のパラリンピック閉会式をもって閉幕した。大会スタッフの皆さん、そして大会を支えてくれた多くのボランティアの皆さんはほっとされているのではないかと。これら皆さんに感謝申し上げます。また、自動車業界は本大会を日本の技術力アピールの機会ととらえ、準備を進めてきた。様々なシーンで近未来の社会を想像できるモビリティも目にするのができた。安全、安心、便利なモビリティの追及は永遠であり、「当たり前」となる時代の実現に向け取り組んでいくことになる。

いまだ新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せないが、一人ひとりができること、やるべきことに「当たり前」に取り組み、感染防止を図っていかなければならない。

(吉田)

表紙写真について

小型部会 日産車体(株)製 「NV200バネット」

コンパクトボディに大容量の荷室を持ち、ビジネスから普段使い、レジャーまで、幅広いシーンでの使い勝手の良さが、多くのお客さまから好評をいただいています。近年の仕様向上では先進安全装備を充実させ、AT車はすべてサポカー対象に。また、エンジンの改良により、全車燃費性能を改善。2WDはCVTの採用とアイドリングストップ機能の追加で、さらに燃費性能を向上させています。魅力装備として電動格納式ミラーを搭載。新エンブレムの採用で見た目も新しくなりました。

お知らせ

講演会のご案内

- ◆日 時：2021年10月14日(木)
14:30～16:00
- ◆場 所：日本自動車会館1階くまプラザ会議室
+ Web(Zoom)併用
東京都港区芝大門1-1-30
- ◆テーマ：「2021年度大型トラック・バスの市場動向と
三菱ふそうトラック・バスの取組みについて」(仮)
講演者：三菱ふそうトラック・バス株式会社 様
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：当会ホームページに掲載する用紙、又は会員へ
メール配信する用紙にてお申込みください。

秋季会員大会 講演会のご案内

- ◆日 時：2021年10月22日(金)
15:00～18:00
- ◆場 所：東京會館 丸の内本館 + Web(Zoom)併用
東京都千代田区丸の内3-2-1
TEL：03-3215-2111
- ◆テーマ：「SDGsで自分を変える、未来が変わる」(仮)
講演者：川廷 昌弘 氏
(株式会社博報堂DYホールディングス
IR室CSR推進担当部長)
- ◆申込み：当会ホームページに掲載する用紙、又は会員へ
メール配信する用紙にてお申込みください。

※ 3密を避けるため、会場出席人数を制限し、Web併用開催とします。
但し、状況により、開催方法が変更となる場合がありますのでご了承ください。

<問合せ先> 日本自動車車体工業会 総務部
TEL 03-3578-1681

この会報「車体NEWS」は、主として自動車車体にかかわる法令改正等の動きを情報としてとりまとめ、春、夏、秋、冬の4回、季刊発行により関係方面の方々に毎回およそ1,700部を送付させていただいております。送付先は当工業会会員事業所他全国の大型車等の自動車販社、各都道府県のバス、トラック協会、バス、トラックの大手ユーザー、全国の経済産業局、運輸局、運輸支局、自動車技術総合機構、日本自動車車体整備協同組合連合会、軽自動車検査協会及び自動車関係団体となっております。

広告掲載会社

新明和工業株式会社……………表2
ワコー株式会社……………P.15
イサム塗料株式会社……………P.16
スリーエム ジャパン株式会社……………表3
損害保険ジャパン株式会社……………表4

車体NEWS

AUTUMN 2021 秋

2021年9月15日発行

発行所 一般社団法人 日本自動車車体工業会
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

TEL.03-3578-1681 FAX.03-3578-1684

発行人 吉田 量年

美しさと安全性の両立

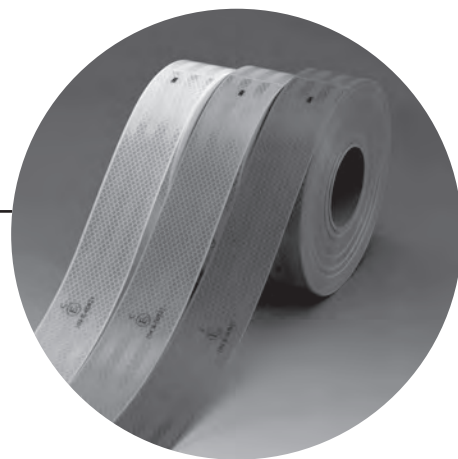
Beauty & Safety スリーエムからの提案です。

夜間や薄暮に多発するトラックなど大型車両の事故。車両の視認性低下が原因のひとつとなっています。夜間の事故防止には再帰反射材による車両マーキング(線状再帰反射材、輪郭再帰反射材、特徴等表示再帰反射材)が不可欠です。その効果は様々な研究報告により明らかになっています。

わが国では「道路運送車両の保安基準」でその取付要件が規定されました。すでに欧米では多くの国々で取付要件が規定されており、義務化された国もあります。スリーエムではこの基準に適合した(※Eマーク付)3MTMダイヤモンドグレードTMコンスピキュイティ反射シートと3MTM反射シート680Eシリーズを提供しています。

また、スリーエムでは従来より車体のボデーをPR媒体として活用するフリートマーキングシステムの概念を提案し、スコッチカルTMフィルム、コントロールタックTMプラスフィルムおよびグラフィックスを提供してきました。トラック輸送の有効性、重要性が今後さらに見直される傾向にあります。

今こそ安全性とPR効果がキーワードの車両マーキングとフリートマーキングの採用を検討する時期です。



3MTMダイヤモンドグレードTMコンスピキュイティ反射シート

3MTM反射シート680Eシリーズ

スコッチカルTMフィルム

コントロールタックTMプラスフィルム

3MTM

ダイヤモンドグレードTMコンスピキュイティ反射シート

入射光を光源方向にまっすぐ戻す、再帰反射効果を備えたプリズムレンズ型反射シートです。ヘッドライトの光などで明るく輝き、自車の存在を相手に強くアピールします。

■おもな特徴

1. 従来品に比べ、反射効果が大幅にアップしています。
2. 広角性にすぐれ、カーブ時の見やすさも十分に確保できます。
3. 取り扱いが簡単です。裏面の透明フィルムをはがすだけで、多くの車体に直接貼ることができます。
4. 耐久期間は約7年です。(当社ガイドライン通りに貼付された場合)。

事故減少に対するコンスピキュイティ反射シートの有効性に関わる研究報告

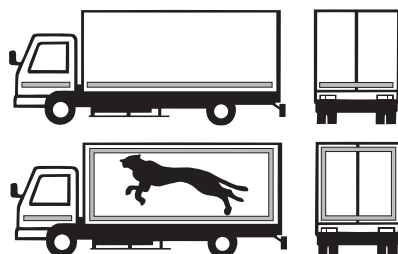
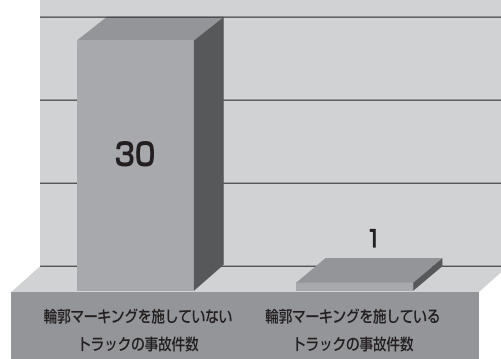
■ヨーロッパにおける研究報告

- 夜間や薄暮におけるトラックの側面・後面への衝突事故の約40%が“みられやすさ”(コンスピキュイティ)不足により発生している。
- 再帰反射材の輪郭マーキングを施したトラックの事故件数は、施していないトラックの事故件数の約1/30だった。

■米国における研究報告

- 再帰反射材による車両マーキングは重量トレーラーの側面・後面への衝突事故を約30%減少させた。特に夜間では約40%減少させた。

■事故件数対比



※Eマークとは:国連の車両等の相互承認協定規則(ECE)R104の要件に適合した製品に付記することができるマーク。このマーク入りの製品は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示、別添105」に定める技術基準に適合している製品でもあります。



スリーエム ジャパン株式会社
トランスポーテーション セーフティ事業部

本社 〒141-8684 東京都港区北品川6丁目7番29号
電話 03-6409-3388
URL <http://www.mmm.co.jp>

3M

生産物賠償責任保険

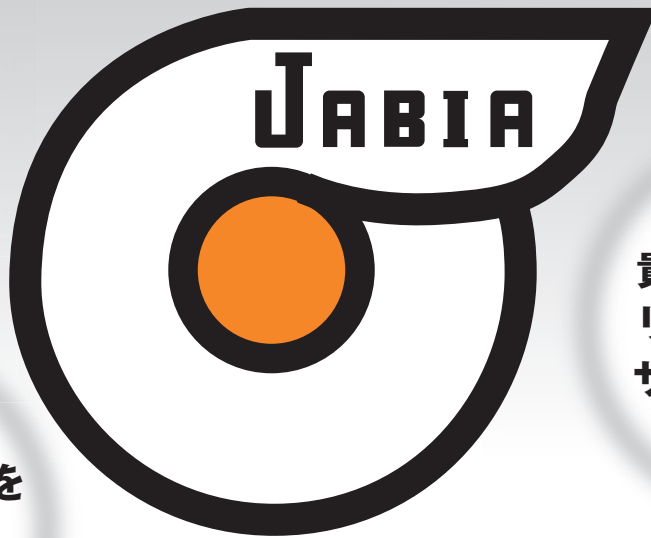
生産物回収費用保険

日本自動車車体工業会 団体PL保険制度・ 団体リコール保険制度

自動車メーカーだけではなく、車体メーカー、部品メーカーも責任を問われる時代です。

随時加入申込受付中

車体工業会会員の
皆さまのための
専用の保険制度。



貴社のPL対策・
リコール対策を
サポートします。

スケールメリットを
生かした割安な
保険料。

制度の趣旨

- (一社)日本自動車車体工業会の会員の皆さまのためのPL保険制度です。
- PL保険制度はPL事故および架装等が原因で生じた賠償事故の損害に対応します。
車体工業会のスケールメリットを活かした制度で多くの会員の皆さまにご利用いただいております。
- 今年度新たにスタートしたリコール保険制度もぜひご検討ください。
- この広告は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

取扱代理店：

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目11番11号 東日本橋Y'sビル7F 株式会社ワイズマン 東京支店

TEL. 03-5623-6455 FAX. 03-5623-6488

ご相談用メールアドレス:jabiahoken@wiseman.gr.jp

お問い合わせ先：

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第一課

TEL. 03-3349-3322 FAX. 03-6388-0155



損害保険ジャパン株式会社